



平成 19 年度  
海賊対策普及・啓発事業  
海賊対策普及・啓発セミナー実施報告書

平成20年3月  
財団法人海上保安協会



## 平成19年度海賊対策普及・啓発事業 海賊対策普及・啓発セミナー実施報告書

### I. 目的

マラッカ・シンガポール海峡を含む東南アジア周辺海域は、我が国のエネルギー等の確保にとって極めて重要な海上交通路であるが、これら海域においては、小銃などで武装した海賊により、通航船舶が強盗、ハイジャックなどの被害に遭っている状況であり、日本船舶を含む日本関係船舶においてもその発生が報告されている。

我が国としては、マラッカ・シンガポール海峡等の安全確保体制の構築を促進するため、各国と海賊事案関係に係る情報交換を行うといった連携強化を図るとともに、我が国の能力を活用した沿岸各国に対する海賊対策関係機関の人材育成・人材交流等を含めた海賊対策の普及・啓発を図る。

なお、本事業は、競艇公益資金による日本財団の助成事業として実施するものである。

### II. 目標

マラッカ・シンガポール海峡、インドネシア海域など海賊等事件が多発する海域の大部分は沿岸国の領海であり、領海内で発生した事案は、基本的には沿岸国が対処することとなるが、これら沿岸国は、我が国に比べ、海上取締りなどの海賊対策のための組織、職員・船艇等の体制が貧弱である。また、沿岸国としてもこれら自国の状態を理解し、我が国をはじめとした先進諸国に対して、講じる対策に向けた援助を求めている状況であることから、マラッカ・シンガポール海峡等の重要交通路の安全確保のため、沿岸国に対し可能な限りの協力を行う。

具体的には、タイ、インドネシア、マレーシア三カ国の沿岸国海上保安機関職員を対象とした海賊対策普及・啓発研修セミナーを実施し、海賊対策関係機関の人材育成・人材交流等を含めた海賊対策の普及・啓発を推進する。

### III. 日程、実施場所、参加機関等

海上保安庁が各国に派遣中であった巡視船や巡視船乗組員等職員の協力を得て、以下の日時、場所、参加者により実施した。

※ タイにおいては、巡視船が派遣されていなかったため、出張中であった海上保安庁職員の協力を得て実施した。

(1) インドネシア

日程;平成19年6月25日(月)から6月27日(水)までの3日間

場所;インドネシア、ジャカルタ、タンジュンプリオク港着岸中及び港外航行中の  
巡視船みずほ船内

参加機関;インドネシア海事保安調整会議(BAKORKAMLA)、海上警察、  
海運総局、海軍

(2) マレーシア

日程;平成19年11月28日(水)から11月30日(金)までの3日間

場所;マレーシア、ポートクラン港着岸中の巡視船しきしま船内

参加機関;マレーシア海上法執行庁(MMEA)、海上警察、首相府国家安全  
保障局

(3) タイ

日程;平成20年2月18日(月)から2月20日(水)までの3日間

場所;タイ、バンコク、プルマンバンコクキングパワーホテル及び海上警察基地

参加機関;タイ海上警察、海事局、海軍  
オブザーバー;タイ外務省

#### IV. 実施内容

(1) 講義

海上保安庁の任務・組織、海上保安庁が実施している海賊対策及び海賊事案の現状・分析のほか、国際法等について講義を実施した。

海賊対策は各国海上保安機関にとって喫緊の課題であることから、多くの質問が飛び交い、研修員の真剣さを感じられた。また、各機関の取り組みについて研修員から現状報告があるなど、情報交換としても有用であった。

特に国際法に関しては、海洋法条約の解釈に関する意見が述べられるなど参加者のレベルの高さが見受けられた。

各国においては複数の機関が連携して海賊対策に対応しているところであるが、海上保安庁と各国機関の連携強化のみではなく、各国の国内機関間における連携強化についても効果的であったと思われる。各国における特記事項は以下のとおり。

① インドネシア

インドネシアにおいて発足間もない海事保安調整会議(BAKORKAMLA)は海上保安庁の組織や装備について関心が高く、講義に対する質問や意見が多

くだされた。また、海賊事案の現状・分析について、国際海事局（IMB）の統計に基づき講義を行ったが、インドネシア海域における統計は実際と異なるとの意見が多かった。

## ② マレーシア

MMEA からは、将来大型巡視船の導入が検討されているため、海上保安庁の巡視船の運用についての質問が多かった。海上警察からは、実務経験の豊富な職員が参加しており、取り締まりの手法等に関して活発な議論が行われた。実際の実働機関ではない首相府国家安全保障局職員であるが、実働機関である海上保安庁の組織や任務に関する講義等が政策立案等に資する講義であると評価していた。

## ③ タイ

タイにおいては、海上の治安維持に関係する機関を効率的に調整するための検討が行われているため、海上保安庁の任務や他の省庁との関係について多くの質問があった。研修員のレベルが高く、活発に議論が展開したため、予定していた講義の全てを終了することができない状況であった。

## (2) 机上訓練

実際の海賊事案を想定したシナリオに沿って、海図やパソコンを活用した机上訓練を実施した。参加者は各国の海上保安機関職員として、情報収集や被害船・海賊船の捜索、容疑船の制圧等に関するオペレーションを行う訓練であるが、講義において説明した内容が再確認され、参加者の理解も深まったように思われた。各国における特記事項は以下のとおり。

### ① インドネシア

現実と異なる簡略化した訓練想定が研修員にとっては理解が難しいものであったようであり、最終的にシナリオを完遂することができなかった。今後資料等の改善を検討する余地があると思料された。

しかし、訓練を実施する意義等に関して活発な議論が展開されたことから、机上訓練を通じた相互理解の促進に役立ったと思料する。

### ② マレーシア

PC等を使用したものに加え、ディスカッション形式の訓練も実施した。シナリオをイメージしやすくするためインドネシア版を修正して実施したため、進行もスムーズに進み、予定どおり終了することができた。

### ③ タイ

議論が非常に盛り上がり、想定外の方向にシナリオが進む等コントロールが難しくなる場面もあったが、研修員は全体的に訓練の意図をよく理解しており、

スムーズに進行した。

### (3) 容疑者制圧訓練

容疑船への移乗、船上での容疑者の制圧に関する訓練を実施した。海上保安庁においても実施している実践的な内容のものであったが、研修員も非常に興味を持ち真剣に取り組んでいた。各国における特記事項は以下のとおり。

#### ① インドネシア

巡視船みずほ(以下「みずほ」という)船上を使用し、犯人の制圧、身体検索及び連行要領を実施した後、みずほ及びみずほ警備救難艇を使用しての対象船舶への移乗及び船上移動要領について実施した。猛暑下、屋外での実施であったにも関わらず、研修員の士気は高く、積極的に訓練に取り組んでいたことにより、ほぼ予定通りの訓練項目を実施することが出来たことから、参加各研修員においては海賊船に対する移乗制圧における大局を理解することが出来たものと思料される。

#### ② マレーシア

巡視船しきしまにおいても日ごろ実施している訓練内容であり、実践的なものであった。参加機関のなかでは、実践の場が多いと思料される海上警察のレベルが最も高いようであった。

#### ③ タイ

タイへは海上保安庁が巡視船を派遣することができなかったため、タイ海上警察の船艇や資機材を利用した訓練となった。これらの調整にあっては、タイ海上警察の積極的な協力を受けており、同機関の海賊対策に関する関心の高さが伺われた。

また、研修員は真摯に訓練に取り組んでおり、1日の訓練ではあったが、容疑者制圧技術に関するイメージをつかんだようであった。海上警察からの研修員にあっては、経験的に大よその要領をつかんでいるようであったが、特別な訓練は受けていないとのことであり、本訓練に関して有効であるとの評価が得られた。海軍からの研修員にあっては、今回の訓練に関する知識・経験を持ち帰り、軍と法執行機関の技術的な相違について検討したいとのことであり、法執行機関における移乗・制圧手法に関して理解する良い機会であったとの評価であった。

### (4) 連携訓練見学(インドネシアのみ)

インドネシアにおいては、海上保安庁が関係機関と実施した連携訓練を研修員が見学した。講義や机上訓練で想定した内容について、実際の船艇航空機を使用して訓練するものであり、講義や机上訓練の内容のイメージをより明確にす

ることができたと思われ、非常に有効であった。来年度からも、連携訓練が実施される際にあつては、研修員を見学・参加させることができれば、研修効果があがると思われる。

#### (5) 巡視船運航研修(インドネシアのみ)

講義や装備・資機材の見学、搭載艇の操船訓練等を通じ、海上保安庁における巡視船の運航体制について説明した。特に巡視船の運用に係る作業と警備・救難等の業務に係る作業を効率的に実施するための人員体制については、インドネシアにはないシステムであり、業務効率化のためのよい参考になるとのことであった。

#### (6) 添付資料

- 別添1 研修セミナー日程表
- 別添2 研修員名簿
- 別添3 講義資料
- 別添4 実施状況写真
- 別添5 報道資料

### V. 来年度へ向けての改善点

#### (1) 研修員を巡視船に宿泊させた研修セミナーの実施

海上保安庁巡視船の運用上の問題等により、研修員を宿泊させての研修セミナーはインドネシア以外では実施できなかった。巡視船の運航研修や連携訓練の見学は、研修効果を高める上で重要であり、また、寝食をともにすることにより、参加機関間の人材交流にも一層効果があると思われるところ、来年度以降は海上保安庁と十分に調整し、三カ国全てにおいて、研修員を宿泊させての研修セミナーを実施したいと考えている。

#### (2) 研修員の担当に合わせた研修セミナーの実施

参加する研修員の担当はそれぞれであることから、実施する講義や訓練によって参加者を代えることも検討すべきと思料する。タイにおいては、海事担当官と法執行担当官を分けて研修したが、同様な試みを他の国においても検討すべきと思われる。

#### (3) 研修対象機関の船艇資機材を使用した研修セミナーの実施

タイにおいては、海上保安庁巡視船が派遣されていなかったことから、タイ海上警察の船艇や資機材を使用した訓練を実施した。これにより、研修対象機関の所有する資機材に合わせた訓練が可能であり、また、研修セミナーの準備作業

を共同して実施することにより、人材交流にも効果があると考えられるところ、来年度以降にあっては、海上保安庁の巡視船における研修セミナーに加え、研修対象機関の船艇資機材を活用することも検討すべきと思われる。

別添1

# 研修セミナー一日程表



H19.6.25～7インドネシアにおける乗船研修セミナー スケジュール

月日	時刻	項 目	場 所	備 考
6月25日	0900	研修生乗船		
	0910	オリエンテーション(スケジュール紹介等)	第二公室	
	1000	乗船式／研修・訓練班	飛行甲板	雨天:第二公室
	1015～1145	講義 海上保安庁業務紹介／研修・訓練班	第二公室	
	1145～1300	昼食・休憩	第一公室	
	1300～1430	講義 海上保安庁の海賊対策、国際法／本庁	第二公室	1500から約15分間の礼拝
	1500～1630	講義 容疑船移乗制圧		
	1800～1930	机上訓練		
6月26日	0630～	起床、体操		
	0800～0830	日程説明	第二公室	
	0830	出港		
	0900～1030	運航実習		
	1030～1200	容疑船移乗制圧訓練	飛行甲板	
	1200～1300	昼食・休憩	第一公室	
	1300～1430	搭載艇操船訓練	船内外	
	1430～1630	実技 容疑船移乗訓練	船内外	
6月27日	0630	起床、体操		
	0800～0900	訓練説明	第二公室	
	0900～1200	海賊対策連携訓練見学	船橋	
	1200～1300	昼食・休憩		
	1300	入港		
	1400～1500	意見交換会	第二公室	
	1500～1600	研修検討会／本庁	第二公室	
	1600～	研修生下船式／研修・訓練班	飛行甲板	
		乗員はレセプション会場向け出発		
	1830～2030	船長主催レセプション／対外行事班	ホテル	

H19.11.28~30マレーシアにおける乗船研修セミナー スケジュール

月日	時刻	項目	場所	備考
11月28日	0900	研修生乗船		
	0910	オリエンテーション(スケジュール紹介等)	第二公室	
	1000	乗船式/研修・訓練班	飛行甲板	雨天:第二公室
	1015~1100	講義 海上保安庁業務紹介/研修・訓練班	第二公室	
	1100~1145	船内施設見学/各科	船内外	
	1145~1300	昼食・休憩	第一公室	
	1300~1700	講義 海上保安庁の海賊対策、国際法/本庁	第二公室	1500から約15分間の礼拝
	1700	研修生下船		
11月29日	0900	研修生乗船		
	0910~1000	講義 容疑船移乗制圧	第二公室	
	1000~1145	実技 容疑船移乗	飛行甲板	
	1145~1300	昼食・休憩	第一公室	
	1300~1500	実技 容疑船移乗	飛行甲板	
	1500~1530	休憩(礼拝)	休憩室	
	1530~1700	実技 容疑船移乗想定訓練	船内外	
	1700	研修生下船		
11月30日	0900	研修生乗船		
	0900~1145	海賊机上訓練/本庁	第二公室	
	1145~1300	昼食・休憩	第一公室	
	1300~1500	課題発表会/本庁	第二公室	
	1500~1530	休憩(礼拝)	休憩室	
	1530~1600	研修検討会/本庁	第二公室	
	1600	研修生下船式/研修・訓練班	飛行甲板	
		乗員はレセプション会場向け出発		
	1830~2030	船長主催レセプション/対外行事班	ホテル	

H20.2.18～ タイにおける海賊及び海上武装強盗対策セミナー

日付	時間	実施内容	場所	備考
2月17日	1800	研修参加者ホテルチェックイン 事前打ち合わせ	ホテル	
2月18日	900	日程等説明	ホテル	
	930	テーマ1 海上保安庁の活動		
	1030	テーマ2 東南アジアにおける海賊・海上武装強盗 の現況		
	1130	テーマ3 東南アジアにおける国際組織犯罪対策		
	1200	昼食		
	1300	テーマ4 国際法(国連海洋法条約)海上保安庁の活動	ホテル	
	1330	テーマ5 事案発生時の情報収集/情報共有のあり方	ホテル	
	1430	テーマ6 容疑船/被疑船捜索手法		
	1500	テーマ7 国際法上の容疑船停船手続		
	1600	テーマ8 容疑者制圧手法		
	1700	プレゼンテーション ReCAAP ISCの業務説明		
	1800	研修1日目 終了		
2月19日	830	【法執行担当官研修】 ホテル出発		
	1000	船内容疑者制圧訓練	海上警察本庁	
	1200	昼食		
	1300	船内容疑者制圧訓練	海上警察本庁	
	1700	研修2日目 終了		
		【海事担当官研修】		
	900	テーマ1 海上法執行機関と海事当局の連携	ホテル	
	1000	テーマ2 安全意識の向上	ホテル	
	1100	テーマ3 IMOの活動		
	1200	昼食		
	1400	テーマ4 海事当局間の国際		
	1500	テーマ5 情報共有にかかるMRCC、VTCの役割	ホテル	
	1530	テーマ6 事例研究		
	1600	テーマ7 マラッカシンガポール海峡		
	1630	総括		
	1700	研修2日目終了		
2月20日		研修参加者ホテルチェックアウト (遠隔地からの参加者を除く)		
	900	机上訓練による海賊事案対応のための検証	ホテル	
	1200	昼食		
	1300	課題研究発表会	ホテル	
	1600	研修評価会	ホテル	
	1700	研修3日目終了		
	1900	海上保安協会主催 レセプション 修了書授与式	ホテル	
	2100	研修3日目終了		
2月21日		研修参加者ホテルチェックアウト (遠隔地からの参加者)		

別添2

# 研修員名簿

# 乗船研修セミナー参加者名簿(インドネシア)

番号	氏名	所属
1	DEVY SUDARSO	BAKORKAMLA(海上治安調整会議)
2	TOGA SIMATUPANG	BAKORKAMLA(海上治安調整会議)
3	MOH. ALI	DGST・KPLP(運輸省海運総局)
4	MARDIANTIKA. S	DGST・KPLP(運輸省海運総局)
5	ARIF CHANDRA	DGST・KPLP(運輸省海運総局)
6	LATIF WAHYUDI	DGST・KPLP(運輸省海運総局)
7	ENDRASTIAWAN	POLAIR(国家警察海上警察局)
8	MOHAMAD REZKY	POLAIR(国家警察海上警察局)
9	DARSUKI	POLAIR(国家警察海上警察局)
10	FAJAR	POLAIR(国家警察海上警察局)
11	WENDY N.RIZALDI	TNI-AL(海軍)
12	YARLI KEMAL M	TNI-AL(海軍)

# 乗船研修セミナー参加者名簿(マレーシア)

番号	氏名	所属
1	SALAHUDDIN BIN HAMZAH	首相府 国家安全保障局
2	MOHAMAD FARIQ UZIR	首相府 国家安全保障局
3	HMIZAN BIN HARUN	マレーシア海上法令執行庁 (MMEA)
4	HUHAMADSUHAIRYBINHUSSAIN	マレーシア海上法令執行庁 (MMEA)
5	MOHD ZULFADLI BIN NAYAN	マレーシア海上法令執行庁 (MMEA)
6	FAIROLEZAN BIN ABD RAHMAN	マレーシア海上法令執行庁 (MMEA)
7	MOHD SHAH RULASHARI BIN AHMAD	マレーシア海上法令執行庁 (MMEA)
8	KRISHNAN S/O RAMASAMY	海上警察
9	ELBES AK JAYA	海上警察
10	GAN PING SIN	海上警察
11	SYLVESTER SIGOH	海上警察
12	KHAIRUDDIN JAMAL	海上警察

# 七三十一参加者名簿(タイ)

番号	氏名	所屬
1	Pol.Lt.Col. Pattravuth Jarjareet	海上警察
2	Pol.Lt.Col. Tripetch Pikul	海上警察
3	Pol. Lt.Col. Wanlop Phuangphaga	海上警察
4	Pol.Lt.Col. Warin Wantongchai	海上警察
5	Pol. Lt.Col. Udom Poolwong	海上警察
6	Pol.Lt.Maj. Foong Chainondnok	海上警察
7	LT. Pakpum Charupakorn	海軍
8	CDR.Jumpon Nakbua	海軍
9	CDR. Wichai Jurthip	海軍
10	LCDR. Somnuck Sukavanich	海軍局
11	Mr.Prasert Yongsuwan	海軍局
12	Mr.Narong Wangdee	海軍局
13	Mr.Thanatip Jantarapakde	海軍局
14	Mr. Sukhin Ratanasathien	海軍局
15	Mr. Sopon Piyapanee	海軍局

別添3

# 講義資料



## Overview of Lectures and discussions

講義及び討論の概要

### Training Seminar on Piracy/Armed Robbery in Bangkok (Thailand)

海賊・武装強盗に関する研修セミナー  
タイ(バンコク)

18-20 November 2007

2008年2月18日～20日

## The theme of lectures and discussions

講義及び討論のテーマ

18<sup>th</sup> Feb 2008 AM

### 1. Missions of the Japan Coast Guard

海上保安庁の業務内容

### 2. Current situations of piracy/armed robbery in Southeast Asia

東南アジアにおける海賊・武装強盗の現状

### 3. Piracy/armed robbery countermeasures in Asia

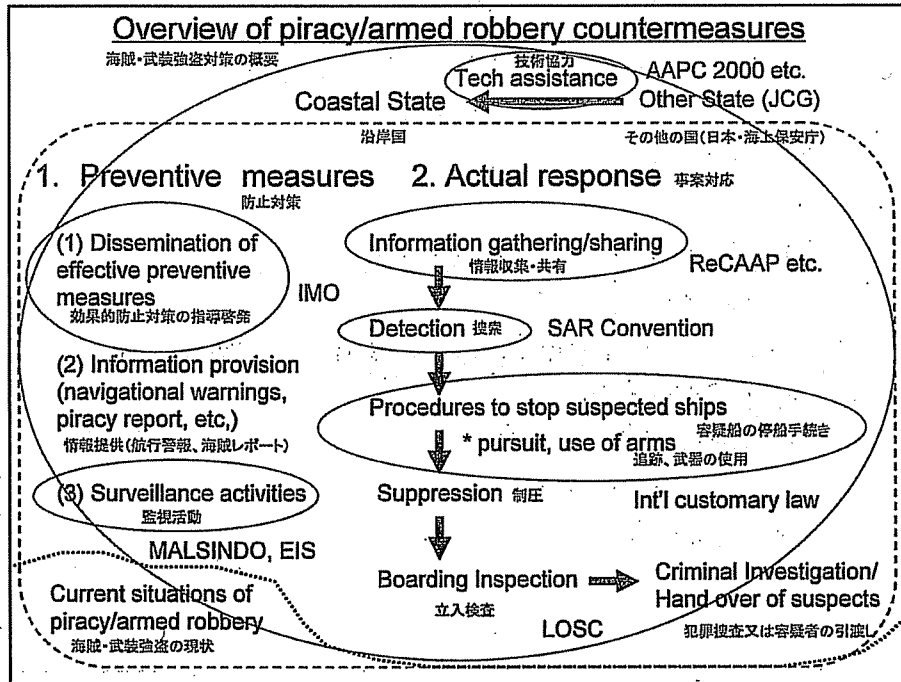
アジアにおける海賊対策全般

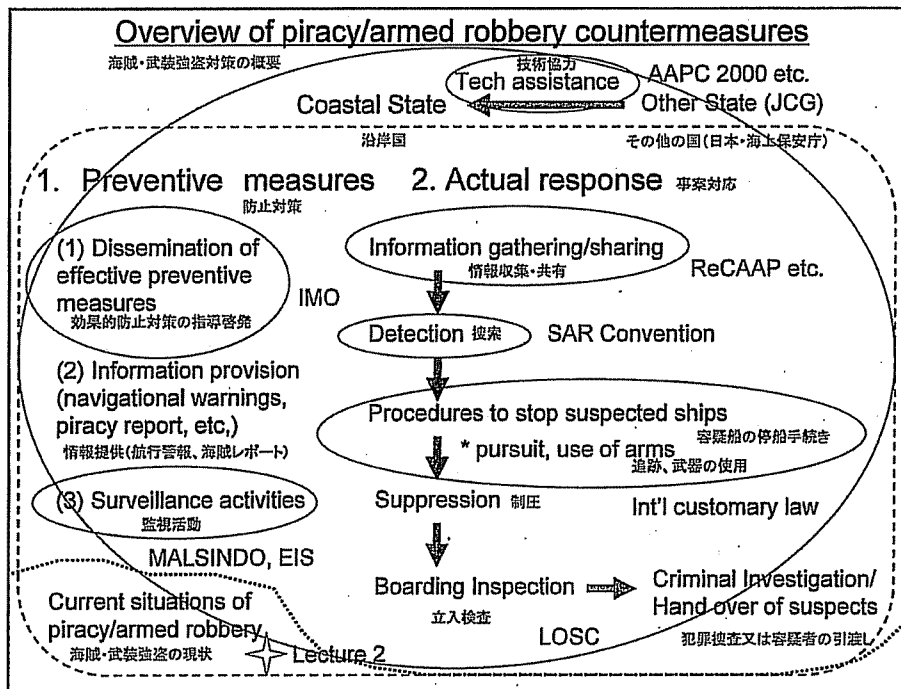
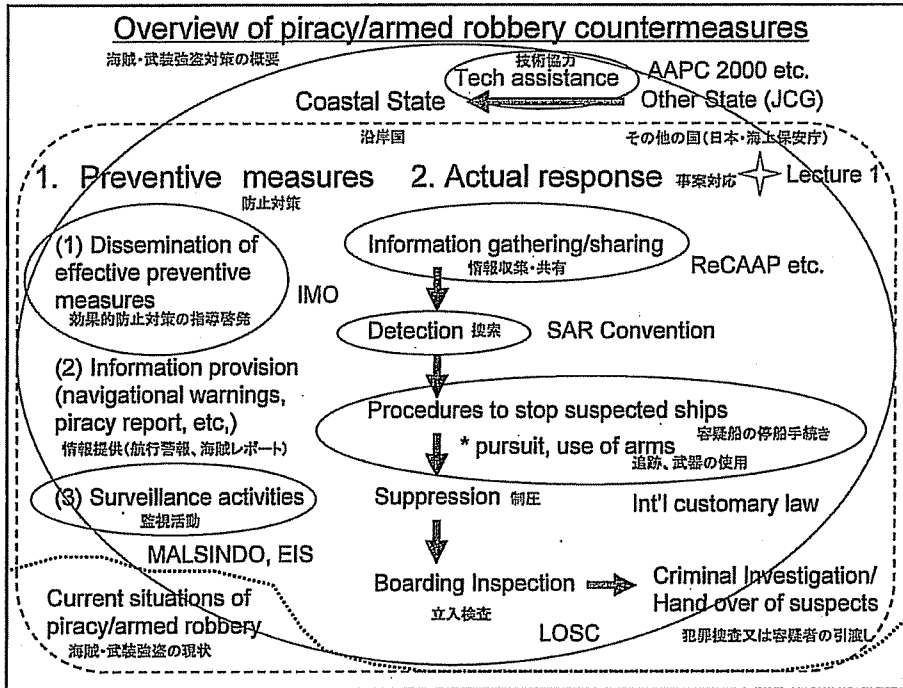
# The theme of lectures and discussions

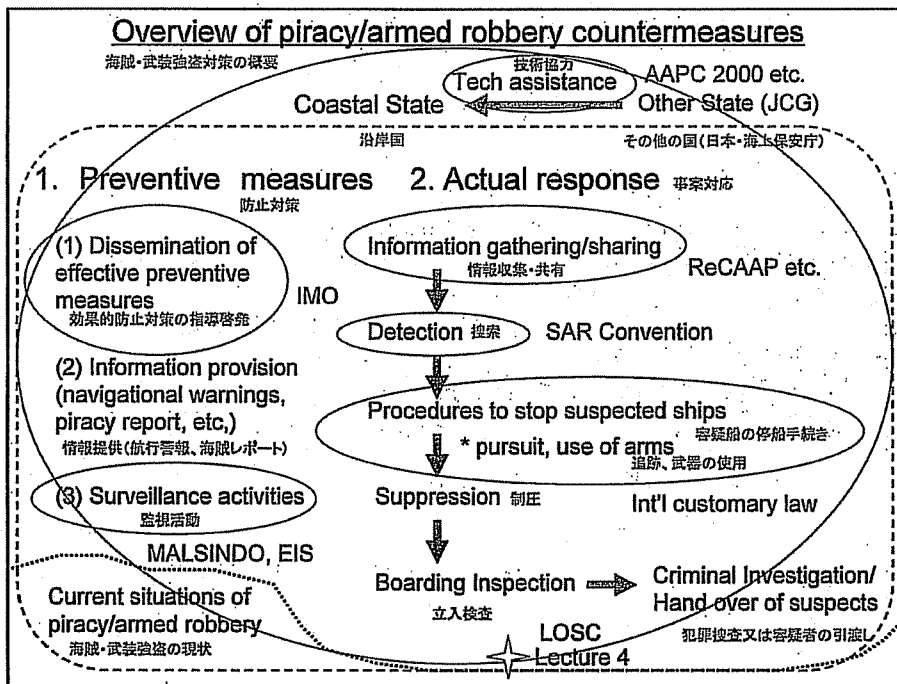
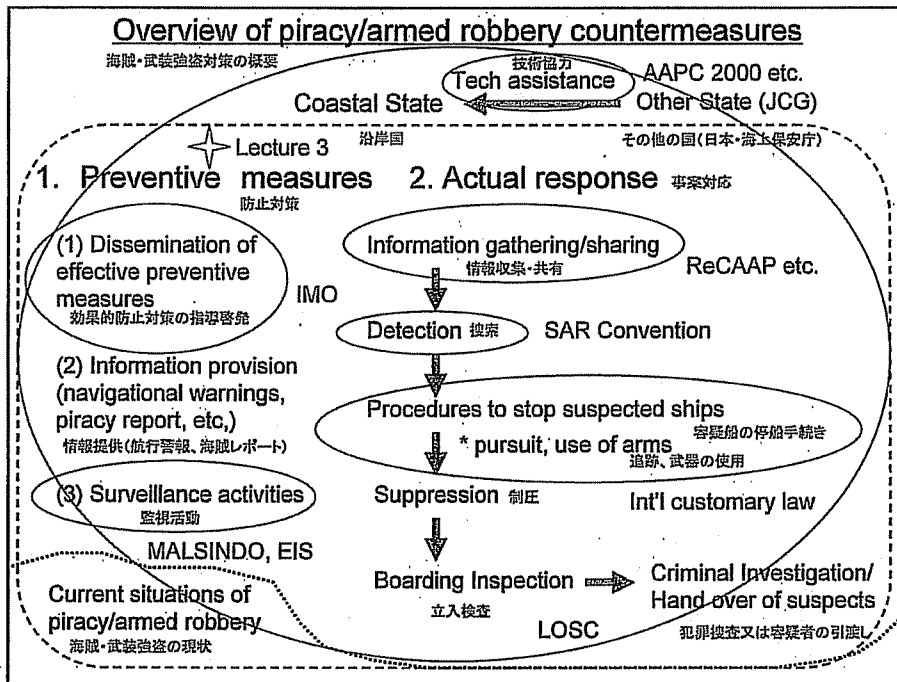
講義及び討論のテーマ

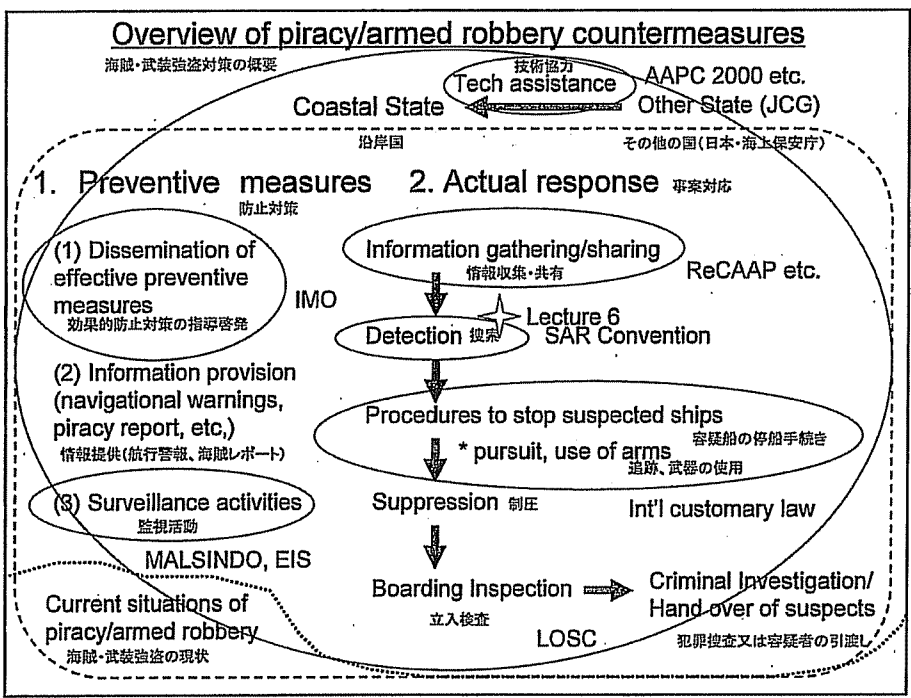
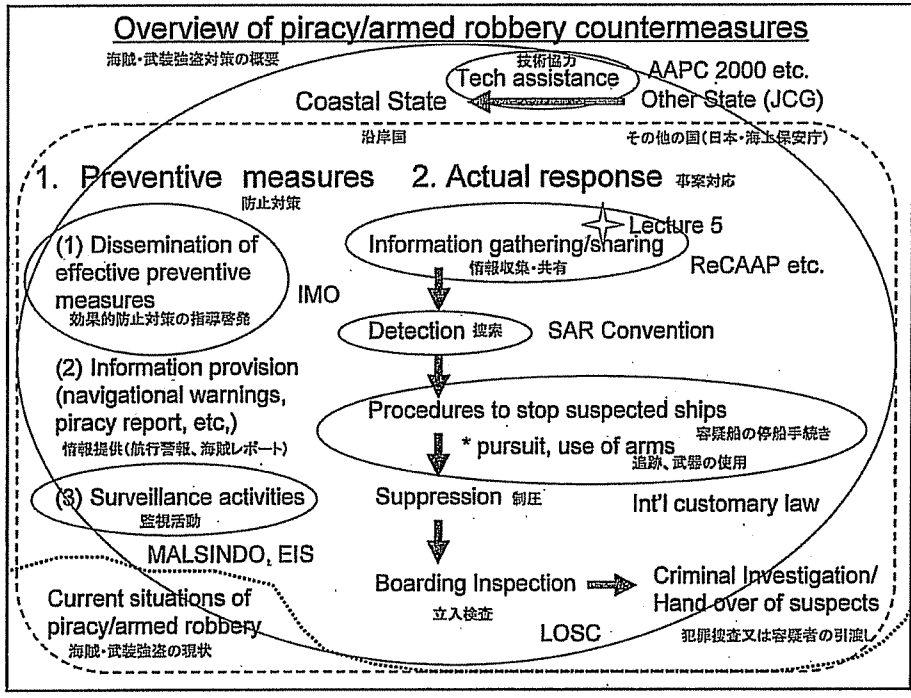
18<sup>th</sup> Feb 2008 PM

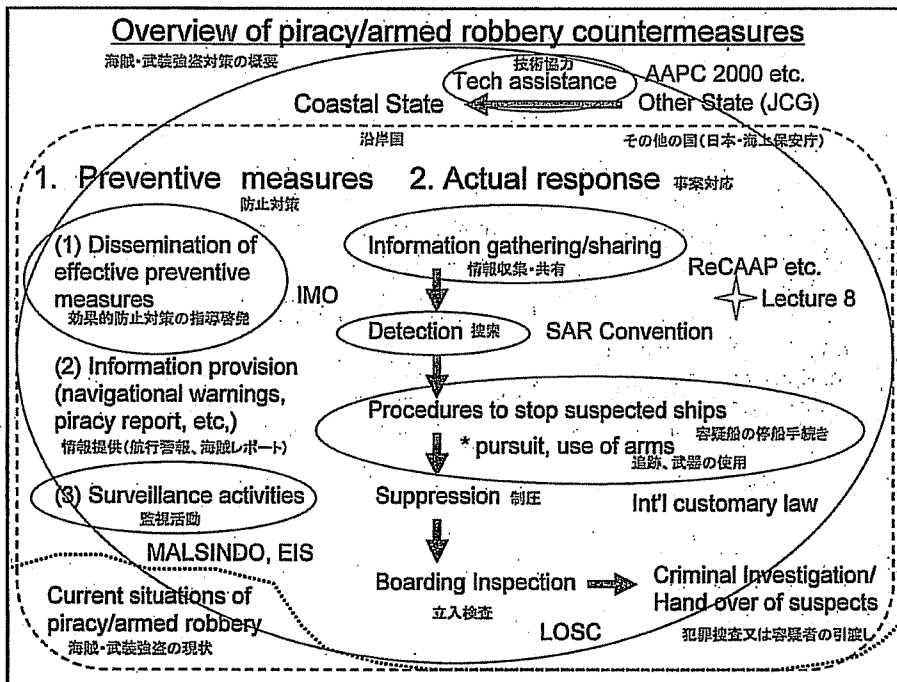
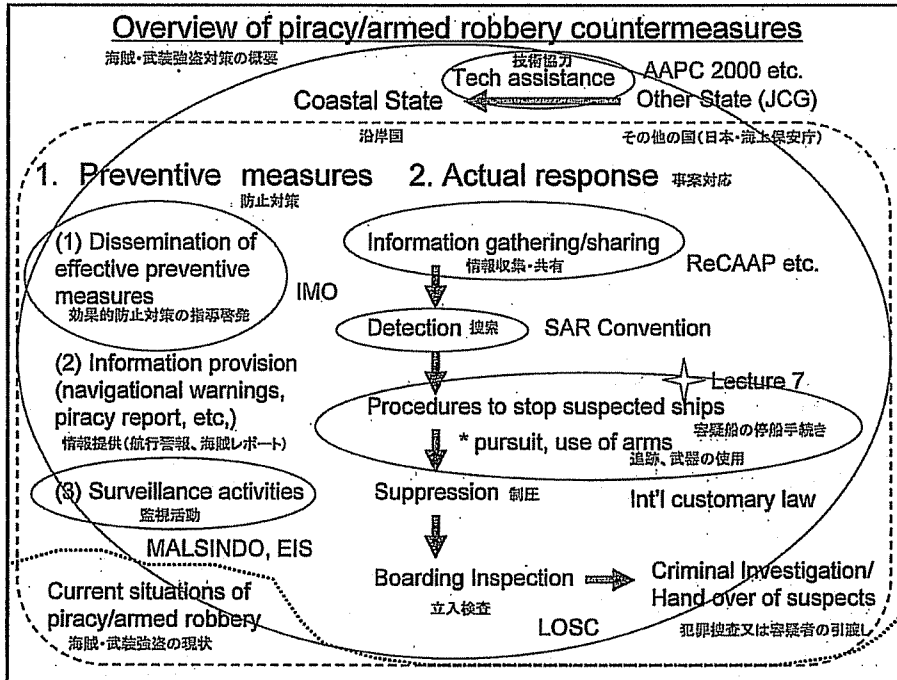
4. International Law (Law of the Sea Convention)  
国際法(国連海洋法条約)
5. Information gathering/Sharing  
情報収集・共有活動
6. Detection of suspected ships  
容疑船の捜索
7. International procedures to stop suspected ships  
(including the use of fire arms)  
停船のための国際手続き(武器の使用を含む。)
8. Functions and activities of the Information Sharing Center  
海賊情報共有センターの活動概要
9. Suppression operation on board  
船上における容疑者制圧手法

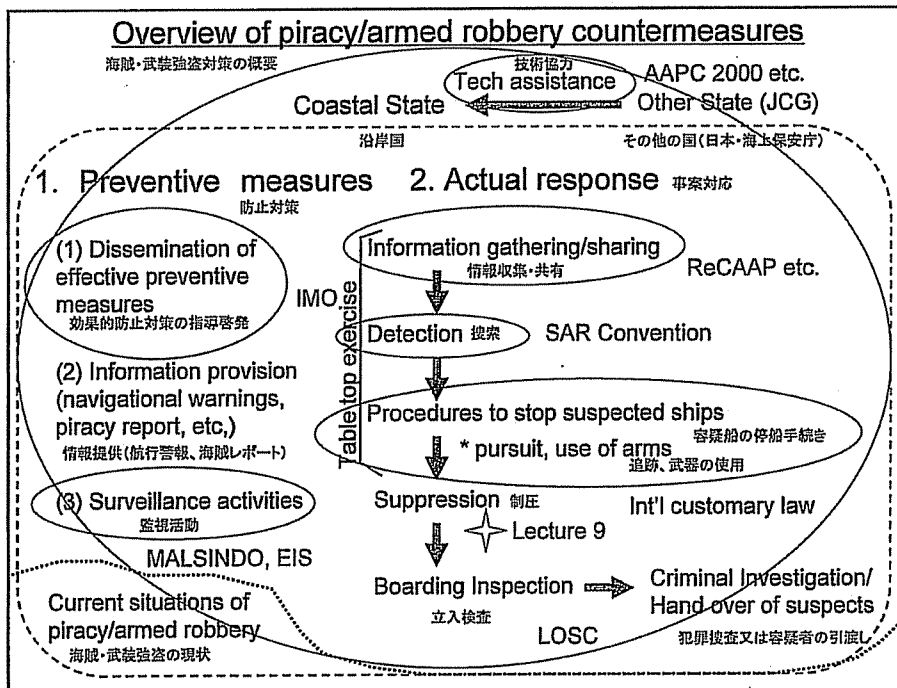
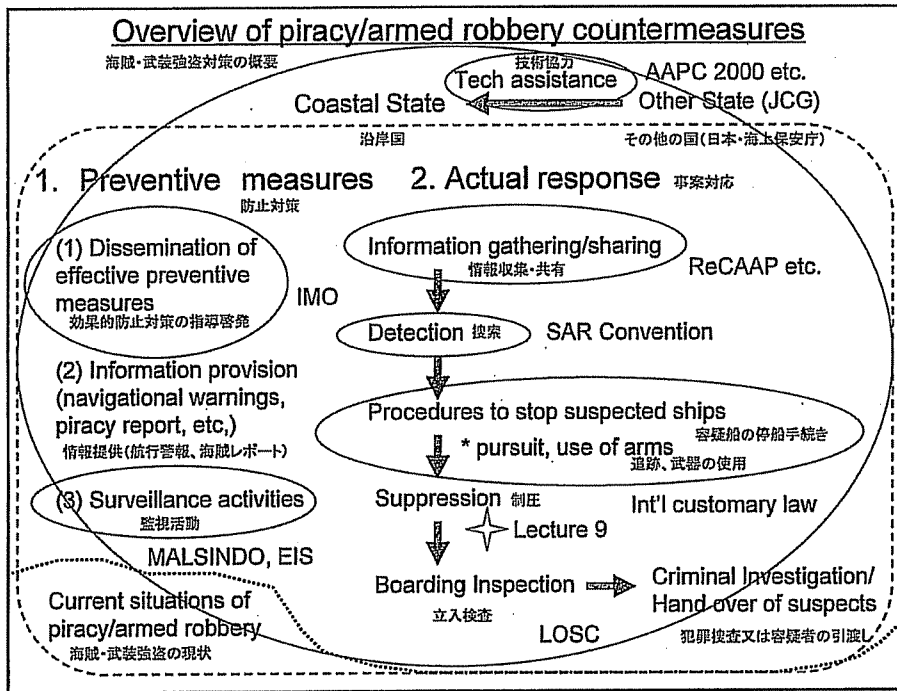


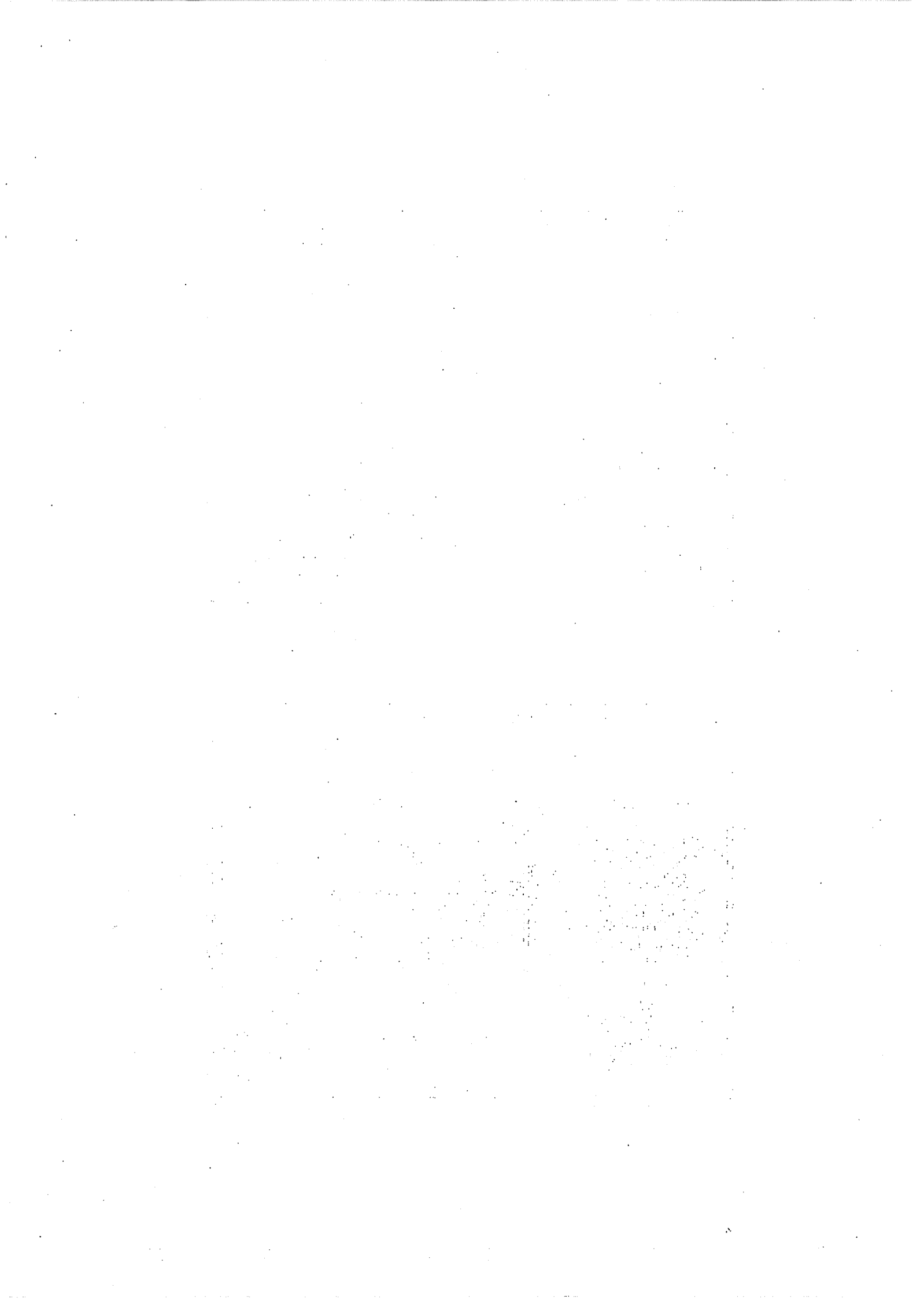














## Lecture 2: Current situations of piracy/armed robbery in Southeast Asia

講義2: 東南アジアにおける海賊・武装強盗の現状

Piracy Countermeasures Office  
International Criminal Investigation Division  
Japan Coast Guard  
海上保安庁・国際刑事課・海賊対策室

### No piracy cases in Thailand ?

タイには、海賊は存在しないか？

### Do you know the reason ?

何故だか分かりますか？

## Definition of 'piracy' under LOSC Art. 101

海洋法条約第101条の海賊行為の定義

- (a) any illegal acts of violence or detention, or any act of depredation, committed for private ends by the crew or the passengers of a private ship or a private aircraft, and directed:
- (a) 私有の船舶又は航空機の乗組員又は旅客が私的目的のために行うすべての不法な暴力行為、抑留又は略奪行為であつて次のものに対して行われるもの
- (i) on the high seas, against another ship or aircraft, or against persons or property on board such ship or aircraft;
- (i) 公海における他の船舶若しくは航空機又はこれらの内にある人若しくは財産
- (ii) against a ship, aircraft, persons or property in a place outside the jurisdiction of any State;
- (ii) いずれの国の管轄権にも服さない場所にある船舶、航空機、人又は財産

## Definition of 'piracy' under LOSC Art. 101

海洋法条約第101条の海賊行為の定義

- (b) any act of voluntary participation in the operation of a ship or of an aircraft with knowledge of facts making it a pirate ship or aircraft;
- (b) いずれかの船舶又は航空機を海賊船舶又は海賊航空機とする事案を知つて当該船舶又は航空機の運航に自発的に参加するすべての行為
- (c) any act of inciting or of intentionally facilitating an act described in subparagraph (a) or (b).
- (c) (a)又は(b)に規定する行為を扇動し又は故意に助長するすべての行為

## Definition of 'Armed robbery' under ReCAAP Art. 1

アジア海賊対策地域協力協定第1条の武装強盗の定義

- (a) any illegal act of violence or detention, or any act of depredation, committed for private ends and directed against a ship, or against persons or property on board such ship, in a place within a Contracting Party's jurisdiction over such offences;

- (a) 私有の船舶又は航空機の乗組員又は旅客が私的目的のために行うすべての不法な暴力行為、抑留又は略奪行為であつて次のものに対して行われるもの

## Definition of 'Armed robbery' under ReCAAP Art. 1

アジア海賊対策地域協力協定第1条の武装強盗の定義

- (i) on the high seas, against another ship, or against persons or property on board such ship;
- (i) 公海における他の船舶又は当該船舶内にある人若しくは財産
- (ii) against a ship, persons or property in a place outside the jurisdiction of any States;
- (ii) いずれの国の管轄権にも服さない場所にある船舶、人又は財産

## Definition of 'Armed robbery' under ReCAAP Art. 1

アジア海賊対策地域協力協定第1条の武装強盗の定義

- (b) any act of voluntary participation in the operation of a ship with knowledge of facts making it a ship for armed robbery against ships;
- (b) いずれかの船舶又は航空機を海賊船舶又は海賊航空機とする事実を知って当該船舶又は航空機の運航に自発的に参加するすべての行為

## Definition of 'Armed robbery' under ReCAAP Art. 1

アジア海賊対策地域協力協定第1条の武装強盗の定義

- (c) any act of inciting or of intentionally facilitating an act described in subparagraph (a) or (b). offences;
- (c) (a)又は(b)に規定する行為を扇動し、又は故意に助長するすべての行為

## Definition of 'Act of piracy' under IMB

国際海事局の海賊行為の定義

"An act of boarding or attempting to board any ship with the apparent intent to commit theft or any other crime and with the apparent intent or capability to use force in the furtherance of that act."

1. 移乗行為(未遂を含む。)
2. 窃盗その他の犯罪を犯そうとする明白な意思
3. 当該行為を助長するために武器を使用する明白な意思又は能力

## Compare 'Act of piracy' with 'Maritime terrorism'

海賊行為と海上テロ行為との比較

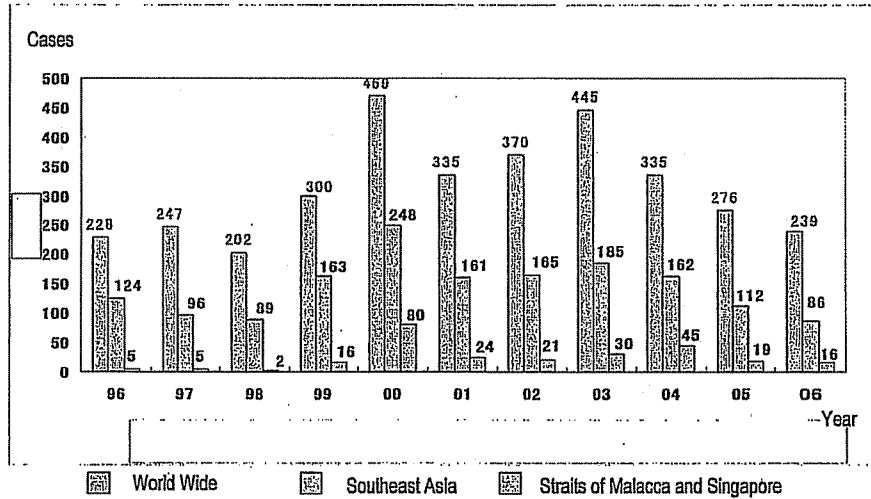
### ■ Any relationship with 'Maritime terrorism'?

海上テロリズムとの関係は？

**Note: Terrorism: The use of violent action in order to achieve political aims or to force a government to act (Oxford Dictionary)**

注:テロリズム:政治的目的を達成するため、または、政府に対し行動することを強要するため、暴力的活動を行うこと

## Recent trends of incidents in 2006

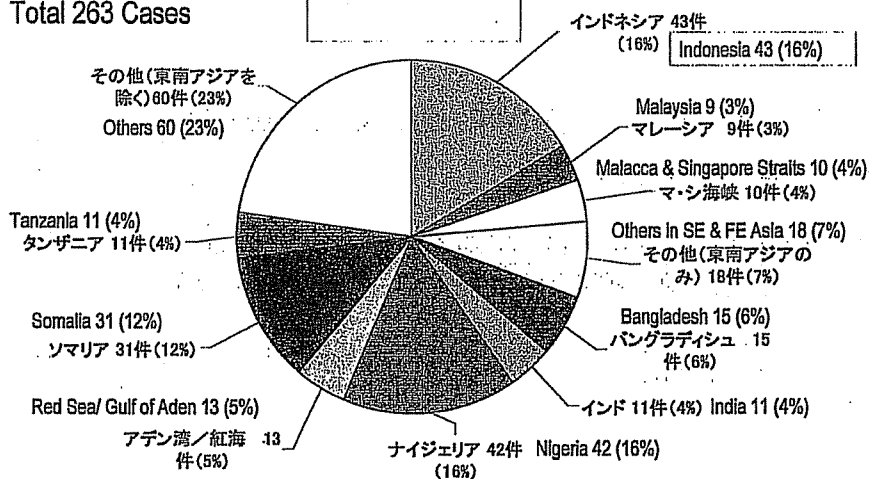


Source: IMB Piracy Report 2006

## Incidents by locations in 2007

海域別発生状況(2007年)

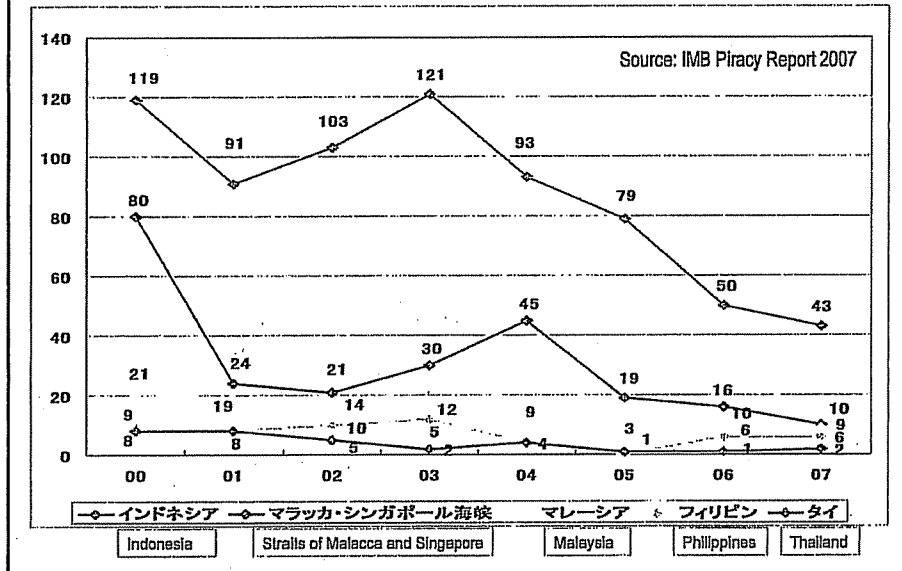
Total 263 Cases



Source: IMB Piracy Report 2007

## Recent trends of incidents by locations

海域別発生状況の近年の推移



## Actual cases on the high seas

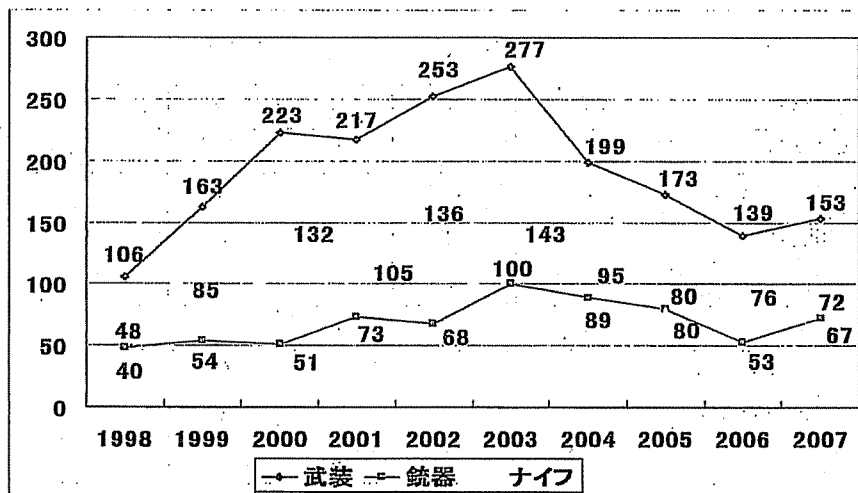
Areas	Berthed/ Anchored	Steaming			Total
		Territorial sea, etc.	High seas	Unknown	
Indonesia	30	8	0	1	39
Malaysia	5	2	0	3	10
Malacca Strait	0	4	0	2	6
Philippines	1	0	1	2	4
Singapore Straits	0	1	0	0	1
Thailand	1	0	0	0	1
China/Hong kong	1	0	0	0	1
South China sea	0	0	0	1	1
Vietnam	2	0	0	1	3
計	40	15	1	10	66

## Attempted cases on the high seas

Areas	Berthed/ Anchored	Steaming			Total
		Territorial sea, etc.	High seas	Unknown	
Indonesia	2	8	1	0	11
Malacca Strait	0	1	4	0	5
Philippines	1	1	0	0	2
Singapore Straits	1	3	0	0	4
計	4	13	5	0	22

## Recent trends on arms used

使用される武器の推移



Source: IMB Piracy Report 2007



## Types of arms used during attacks

襲撃に使用された武器の種類

Source: IMB Piracy Report 2007

Units: Cases 単位 件

Locations 地域区分 (South East Asia)	Armed with Guns 銃器	Armed with Knives ナイフ	Other Weapons その他	Not States 不明	Total 合計
Indonesia インドネシア	6 (14%)	10(23%)	5	22	43
Malacca & Singapore Straits マラッカ・シンガポール海峡	1 (10%)	1 (10%)	0	8	10
Malaysia マレーシア	3 (33%)	4 (44%)	0	2	9
Philippines フィリピン	1 (17%)	2 (33%)	0	3	6
Thailand タイ王国	1 (50%)	0 (0%)	0	1	2
Vietnam ベトナム	0 (0%)	2 (40%)	0	3	5
Others その他	1 (20%)	1(20%)	1	2	5
Total 合計	13(16%)	20(25%)	6	41	80

## Status of ships during attacks

襲撃時の船舶の運航形態

Units: Cases 単位 件

	Berthed 着岸中	Anchored 錨泊中	Steaming 航行中
Success 成功 (Success Rate) (成功率)	10 (100 %)	37 (86 %)	14 (56 %)
Failure 失敗	0	6	11
Total 合計	10	43	25

Source: IMB Piracy Report 2007

## Types of violence to crew and passengers

乗組員・乗客に対する暴力行為等の内容

Units: Persons 単位: 人

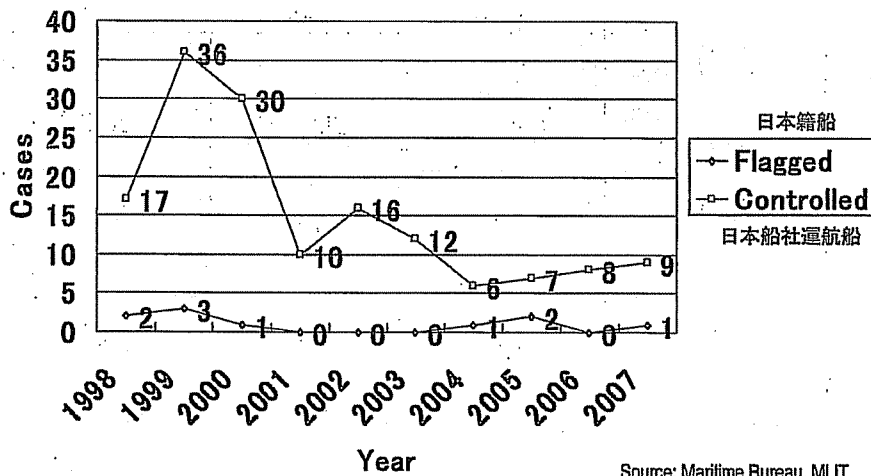
Types of violence 暴力行為等の内容	World wide 全世界	South East Asia 東南アジア
Taken hostage 拘束	292 (188)	29 (65)
Kidnap/Ransom 身代金略取	63 (77)	2 (3)
Threatened 脅迫	6 (17)	2 (5)
Assaulted 暴行	29 (2)	7 (0)
Injured 傷害	35 (15)	5 (2)
Killed 殺人	5 (15)	1 (5)

Note: The bracket indicates statistics in 2006

Source: IMB Piracy Report 2007

## Incidents involving Japanese flagged / controlled ships (Maritime Bureau, MLIT)

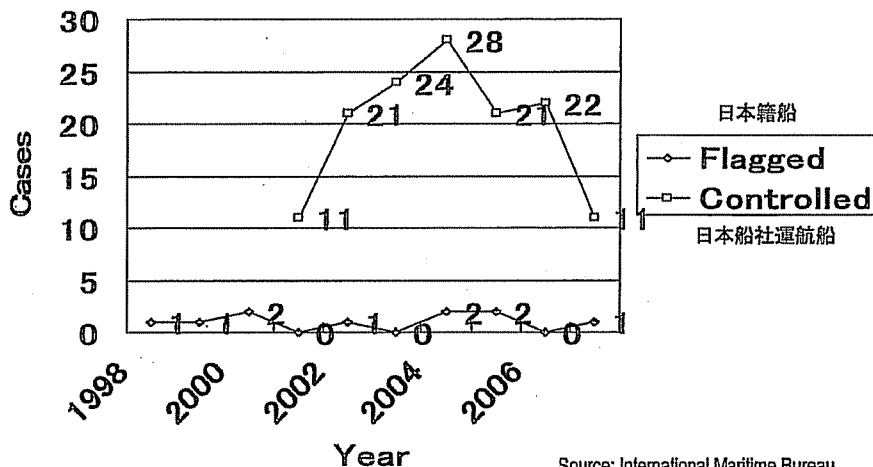
日本籍船・日本船社運航船に係る事案(国土交通省海事局)



Source: Maritime Bureau, MLIT

## Incidents involving Japanese flagged / controlled ships (IMB PRC)

日本籍船・日本船社運航船に係る事案(国際海事局海賊通報センター)



## Trends in the Straits of Malacca and Singapore

マラッカ・シンガポール海峡の傾向

- The Straits of Malacca and Singapore are the most important maritime trading routes in Asia.

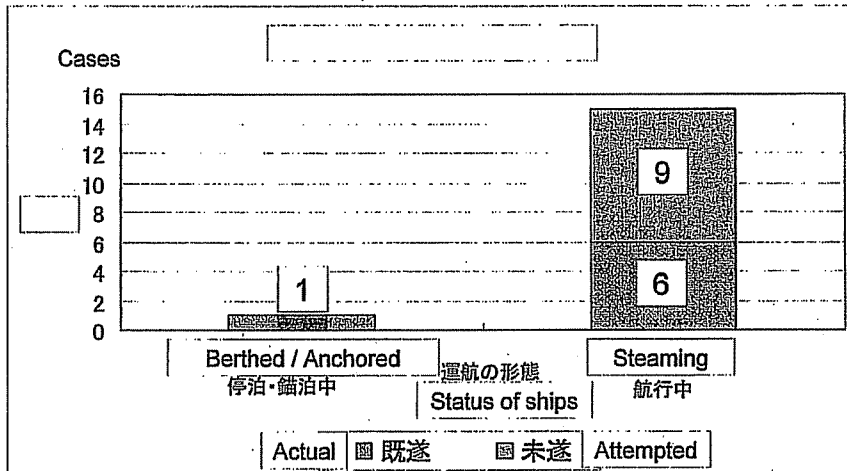
マラッカ・シンガポール海峡は、アジアにおける最も重要な海上交易路である。

- The following statistics are based on the IMB piracy report 2006.

次の統計は、2006年の国際海事局編集による海賊統計に基づいている。

## Actual / Attempted incidents

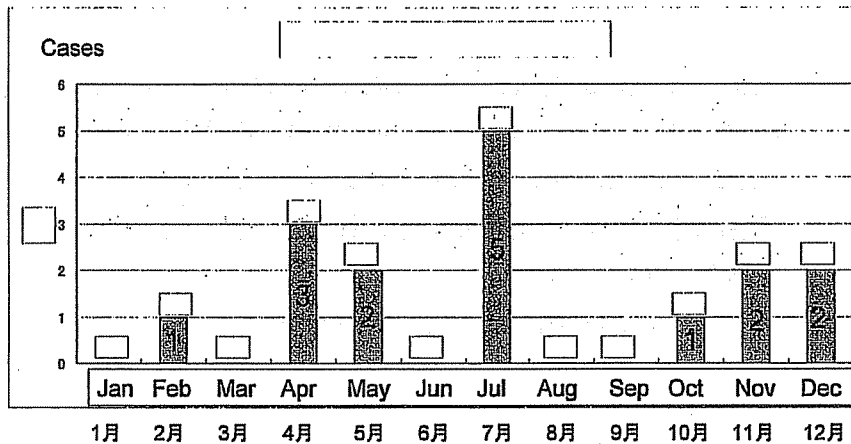
既遂・未遂別、航行の態様別、発生状況



## Incidents by month

月毎の発生状況

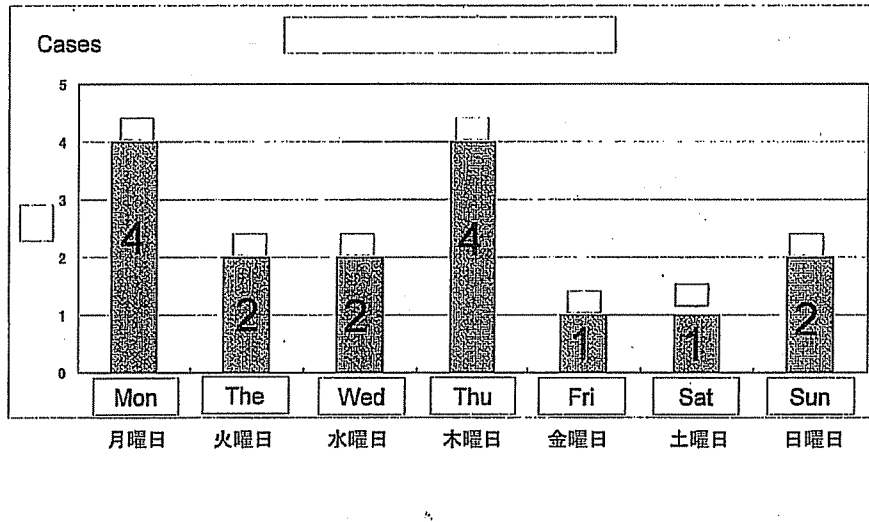
単位: 件数



## Incidents by the day of the week

曜日毎の発生状況

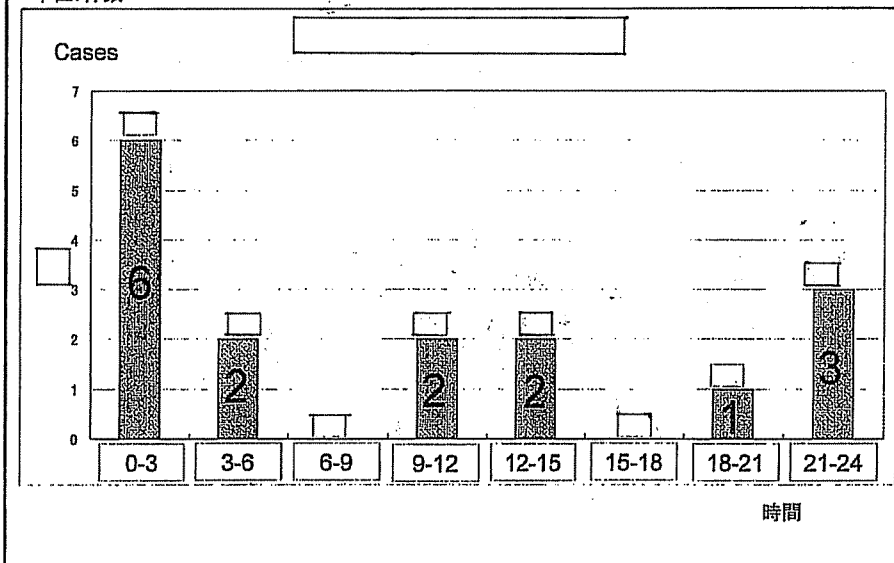
単位: 件数



## Incidents by time period

時間帯毎の発生状況

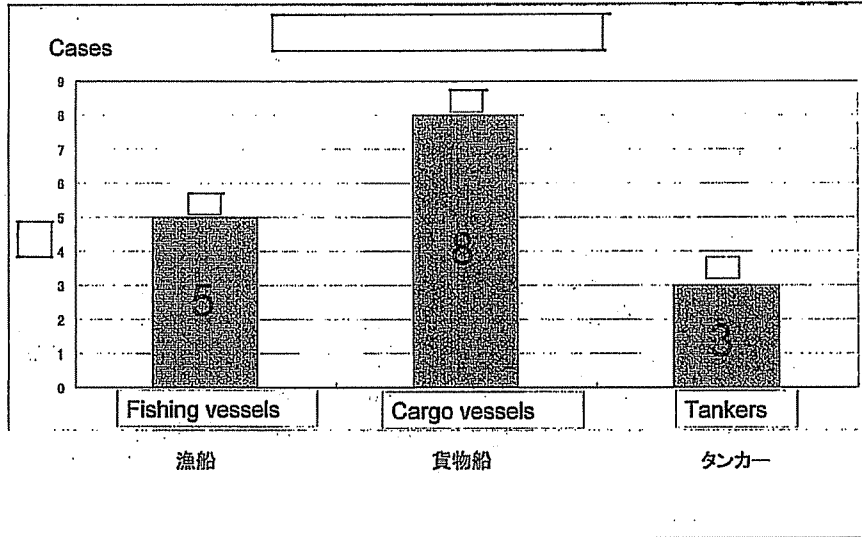
単位: 件数



## Types of ships attacked

襲撃された船舶の種類

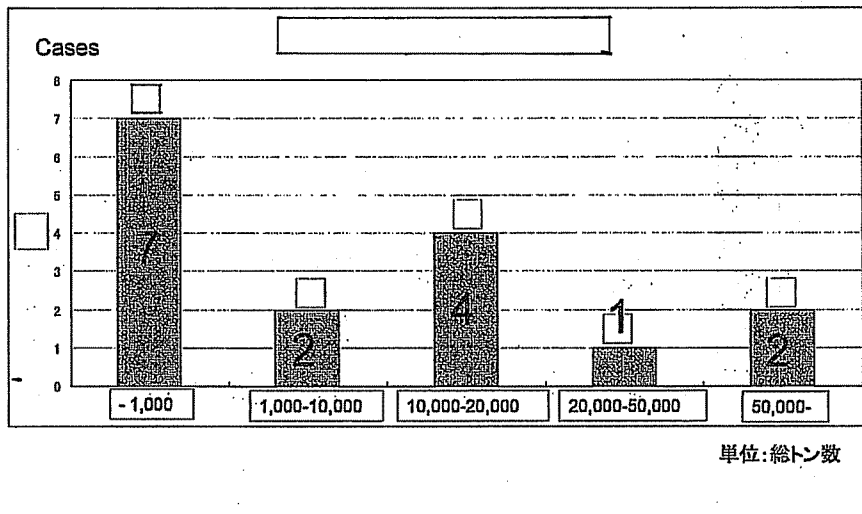
単位: 件数



## Incidents by ship size

船舶の大きさ毎の発生状況

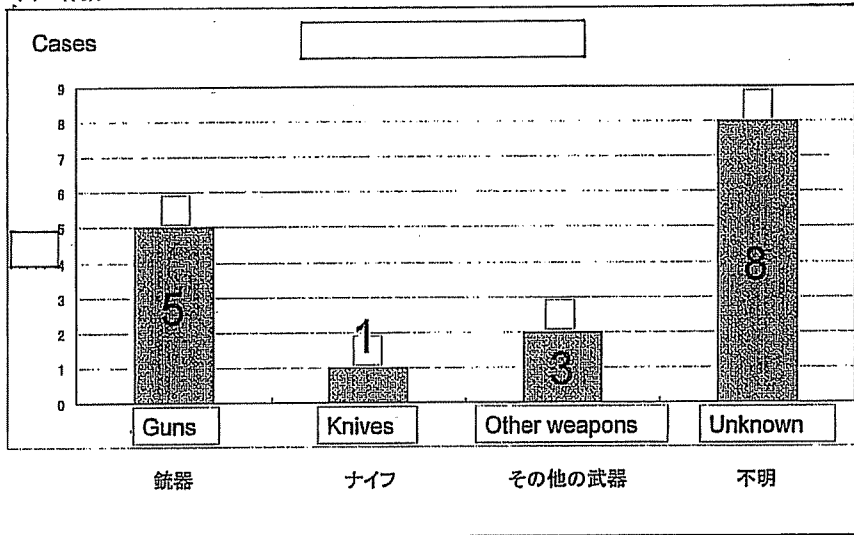
単位: 件数



## Types of arms used

使用された武器の種類

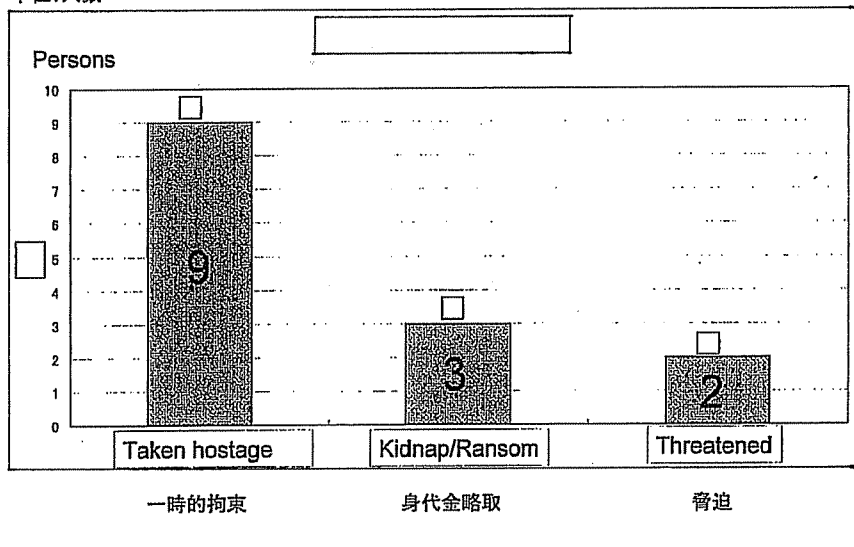
単位: 件数



## Types of violence to crew/passengers

乗組員・旅客に対する暴行の種類

単位: 人数







## Lecture 3: Piracy/armed robbery countermeasures in Asia

講義3: アジアにおける海賊・武装強盗対策全般

Piracy Countermeasures Office  
International Criminal Investigation Division  
Japan Coast Guard  
海上保安庁・国際刑事課・海賊対策室

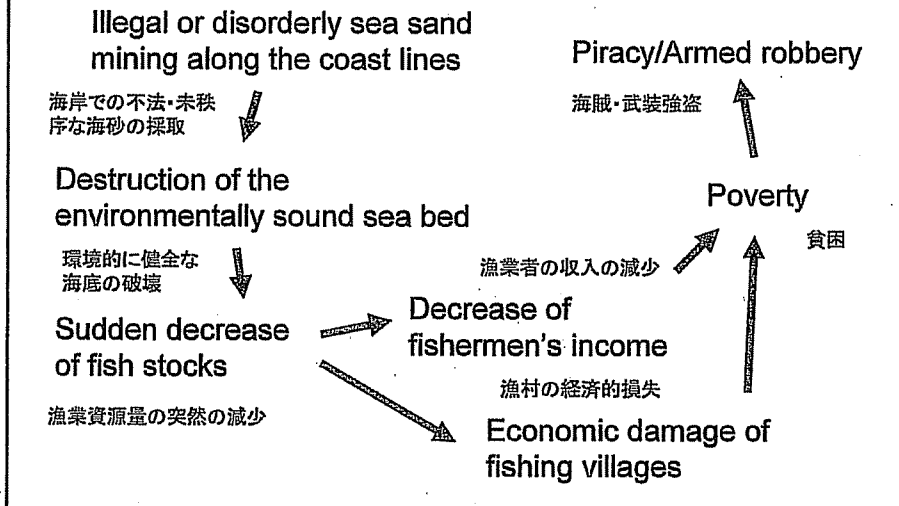
## Fundamental causes for 'piracy/armed robbery'?

海賊・武装強盗事案の根本的原因

- ▣ **Social correlation of piracy/armed robbery in our society**  
我々の社会における、海賊・武装強盗事案の社会的相関関係
- ▣ **Causes: poverty? unemployment? marine environmental destruction? social unrest? uncontrolled firearms? etc.**  
原因: 貧困? 未雇用? 海洋環境の破壊? 社会不安? 規制されていない武器? 等
- ▣ **Consequences: Piracy/Armed robbery !**  
結果: 海賊・武装強盗事案

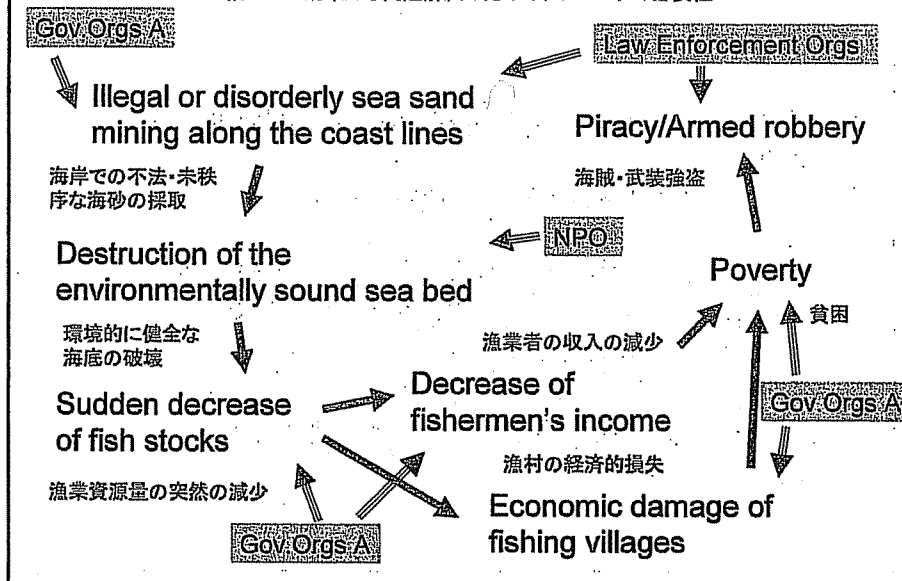
## A simple model of the correlation flow concerning piracy/armed robbery

海賊・武装強盗に係る単純相関関係図



## Need for a comprehensive and effective approach

包括的かつ効果的な問題解決のためのアプローチの必要性



## Basic cycle for piracy/armed robbery countermeasures (Step One)

海賊・武装強盗対策のための基本サイクル(ステップ1)

- Analysis of the current situations of piracy/armed robbery in SE Asia (Location, time, number, type of violence, type of ships, type of arms, status of attacked ships, etc.)

東南アジアにおける海賊・武装強盗の現況についての分析(発生位置、時間、件数、暴力の形態、船舶の種類、武器の種類、船舶の航行形態 等)

- The analysis is useful for carrying out of precautionary measures, or for conducting surveillance activities (including arrest of and prosecution against suspects) etc.

その分析は、被害防止対策や、監視活動(容疑者の逮捕、処罰等を含む。)の実施のためには有益である。

## Basic cycle for piracy/armed robbery countermeasures (Step One)

海賊・武装強盗対策のための基本サイクル(ステップ1)

- Deterrence or prevention of crimes is more important than reducing damage of actual attacks or arresting and punishing offenders. The threat of punishment has never been adequate deterrence to crime!

犯罪の抑止又は防止は、実際の犯罪行為の被害を抑制すること、犯罪者を逮捕し罰すること、より重要である。処罰されるという脅威は、犯罪の十分な抑止力とはなり得ない。

- The analysis of the fundamental causes of piracy/armed robbery is one of the indispensable elements for deterrence or prevention of such crimes.

海賊・武装強盗事案の根本的原因の分析は、そのような犯罪の抑止又は防止に、必要不可欠な要素の一つである。

## Basic cycle for piracy/armed robbery countermeasures (Step One)

海賊・武装強盗対策のための基本サイクル(ステップ1)

- No analysis of the fundamental causes of piracy/armed robbery is available.  
海賊・武装強盗の根本的原因の分析は、行われていない。
- It is not easy for the government to take a comprehensive and effective approach to eradicate piracy/armed robbery without thorough analysis.  
徹底した分析がなければ、海賊・武装強盗を撲滅するための包括的かつ効果的なアプローチを取ることは容易ではない。

## Basic cycle for piracy/armed robbery countermeasures (Step One)

海賊・武装強盗対策のための基本サイクル(ステップ1)

- Enhanced piracy/armed robbery countermeasures by law enforcement authorities of coastal States seem to be effective to some extent to decrease the number of piracy/armed robbery attacks. However, fundamental solutions to deal with the fundamental causes of piracy/armed robbery have to be implemented by appropriate authorities other than law enforcement authorities.

沿岸国法執行機関による強化された海賊・海上武装強盗対策は、海賊・海上武装強盗事案の件数の減少にある程度効果はある。しかし、法執行機関以外の適当な当局による、根本的原因に対処するための根本的な解決策が実施されなければならない。

## Basic cycle for piracy/armed robbery countermeasures (Step Two)

海賊・武装強盗対策のための基本サイクル(ステップ2)

- ▣ Devising effective measures for repression of piracy/armed robbery.  
海賊・武装強盗の抑止のための効果的な対策の策定
- ▣ The measures which are effective for ship crew to avoid piracy/armed robbery attacks.  
船舶乗組員が海賊・武装強盗の襲撃を避けるための効果的な対策
- ▣ The measures which are effective for law enforcement authorities to suppress piracy/armed robbery attacks.  
法執行機関が海賊・武装強盗を抑止するために効果的な対策

## Basic cycle for piracy/armed robbery countermeasures (Step Three)

海賊・武装強盗対策のための基本サイクル(ステップ3)

- ▣ Dissemination and implementation of effective measures for repression of piracy/armed robbery  
海賊・武装強盗抑止のための効果的対策の指導啓発及び実施
- ▣ After service  
= Provision of necessary information (navigational warnings, piracy report, etc.)  
必要な情報の提供(航行警報、海賊報告 等)

## Basic cycle for piracy/armed robbery countermeasures (Step Four)

海賊・武装強盗対策のための基本サイクル(ステップ4)

- ▣ Evaluation of the countermeasures taken by organizations concerned has to be made periodically.  
関係機関によって実施された対策の評価が定期的に行われる必要がある。
- ▣ Improvement of previous countermeasures based on the feedback from the evaluation has to be introduced, if necessary.  
評価から得られたフィードバックに基づき、必要に応じて、従来の対策を改善する。

## Lesson learned (No.1)

教訓(その1)

- ▣ Analyze the current situations of piracy/armed robbery (trend, modus operandi, statistics, etc.).  
海賊・武装強盗の現況の分析(傾向、犯行手口、統計等)
- ▣ Make clear the social correlation.  
社会的相関関係を明らかにする。
- ▣ The government is obliged to deal with problems contained in the social correlation  
= Comprehensive approach to the piracy/armed robbery problem is necessary.  
政府は、当該社会的相関関係内に存在する諸問題について、対処する責務を有する。  
= 海賊・武装強盗問題に対する包括的アプローチ

## Lesson learned (No.2)

教訓(その2)

- ▣ Devising effective measures for repression of piracy/armed robbery.  
海賊・武装強盗の抑止のための効果的な対策の策定
- ▣ Dissemination and implementation of the countermeasures  
対策の指導啓発及び実施
- ▣ Evaluation of the countermeasures  
対策の評価
- ▣ Improvement of the countermeasures  
対策の改善

## Transnational nature of crime

- Diversity of States concerned -

海賊・武装強盗事案の越境性 - 関係国の多様性 -

- ▣ Coastal State: State where the crime was conducted  
沿岸国: 犯罪行為が行われた国
  - ▣ Flag State: State in which the ship is registered  
旗国: 船舶が登録された国
  - ▣ Owner State: State where the owner company is located  
船主が所在する国
- Note: Operating or managing companies and cargo owners are also one of the key stakeholders.**  
運航会社や管理会社、荷主も、主要な利害関係者の一人である。

## Transnational nature of crime

### - Diversity of States concerned -

海賊・武装強盗事案の越境性 一関係国の多様性一

- ▣ **State to which the offenders, crew (victims) belong**  
犯罪者、乗組員(犠牲者)の国籍国
- ▣ **State where offenders lurk**  
犯罪者が潜んでいる国
- ▣ **State which arrests the offenders**  
犯罪者を逮捕する国
- ▣ **State which carries out the seizure of the suspected ship**  
容疑船の拿捕を行う国

## Transnational nature of crime

### - Actual kidnapping case: Tug IDATEN-

海賊・武装強盗事案の越境性 一章駄天号乗組員略取事件一

- |  |  |
|--|--|
| ▣ <b>Coastal State:</b><br>沿岸国:                        | <b>Malaysia</b><br>マレーシア                                 |
| ▣ <b>Flag State:</b><br>旗国                             | <b>Japan</b><br>日本                                       |
| ▣ <b>Owner State:</b><br>船主国                           | <b>Japan</b><br>日本                                       |
| ▣ <b>Nationality of offenders:</b><br>犯罪者の国籍           | <b>Unknown</b><br>不明                                     |
| ▣ <b>Nationality of crew (victims):</b><br>乗組員(被害者)の国籍 | <b>8 Japanese and<br/>6 Filipinos</b><br>8名日本人及び6名フィリピン人 |



## Question !

問題！

**Q: Which State has responsibility to conduct criminal investigation against the crime?**

Q: どの国が本事件に対する犯罪捜査を実施する責任を有しているか？

A: ?

**Note: It is important for States concerned to mutually cooperate to deal with the crime under the scheme of international laws and regulations, paying due respect to sovereignty and sovereign rights of each State.**

関係国が国際法の諸規則に従って、また、各国の主権及び主権的権利に適切な配慮をしつつ、このような犯罪に対処するため、相互に協力することが重要である。

## Brief history of international cooperation

—in the field of piracy/armed robbery—

海賊分野における国際協力の簡単な歴史

- 1999 Oct M.V. Alondra Rainbow Highjacking Case

1999年10月 貨物船アロンドラ・レインボー号ハイジャック事件

- 2000 Apr Regional Conference on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships (Asia Anti-Piracy Challenges 2000 was adopted.)

2000年4月 海賊対策国際会議(アジア海賊対策チャレンジ2000の採択)

Rise in the number of brutal terrorist attacks around the world

世界各地において凶悪なテロ攻撃の発生件数が増加

- 2004 Jun The Heads of Asian Coast Guard Agencies Meeting (Asia Maritime Security Initiative 2004 (AMARSECTIVE 2004) was adopted.)

2004年6月 アジア海上保安機関長官級会合(アマセクティブ2004の採択)

## Brief history of international cooperation —in the field of piracy/armed robbery—

海賊分野における国際協力の簡単な歴史

- 2006 Sep Regional Cooperation Agreement on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships in Asia (ReCAAP) came into force.

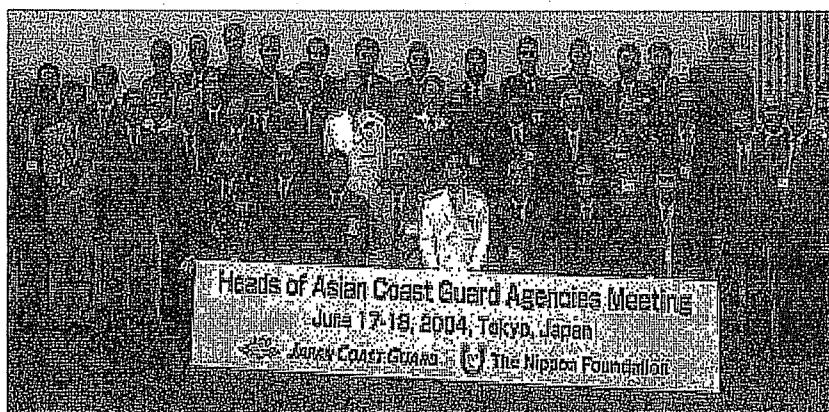
2006年9月 アジア海賊・海上武装強盗地域協力協定(ReCAAP)が発効

- 2006 Nov Information Sharing Center (ISC) was established by the ReCAAP Agreement came into operation

2006年11月 ReCAAP協定に基づき設立された「情報共有センター」の運用開始

## The Heads of Asian Coast Guard Agencies Meeting 17-18 Jun 2004

アジア海上保安機関長官級会合 2004年6月17日、18日



**Key elements in the cooperative international documents on piracy/armed robbery countermeasures**

海賊・武装強盗対策に関する国際文書の主要な内容

- (1) **Common recognition that frequent occurrences of piracy/armed robbery threaten safe navigation of ships in SE Asia**

海賊・武装強盗の頻発が東南アジアにおける船舶の安全な航行の脅威となっているという共通認識

- (2) **Enhancement of law enforcement and surveillance activities in coastal seas**

沿岸域における法執行及び監視活動の強化

- (3) **Request of assistance in criminal investigation through diplomatic channels**

外交ルートを通じた犯罪捜査共助に係る要請

**Key elements in the cooperative international documents on piracy/armed robbery countermeasures**

海賊・武装強盗対策に関する国際文書の主要な内容

- (4) **Effective information sharing schemes functioning around the clock**

効果的かつ24時間体制で機能する情報共有の制度

- (5) **Advancement of cooperative or coordinated activities**

協力的かつ調整された活動の推進

- (6) **Needs for technical assistance**

技術協力の必要性

- (7) **Periodical operational level meetings**

運用レベル担当者の定期的会合

- (8) **Application of countermeasures to illegal activities other than piracy/armed robbery**

海賊・武装強盗対策の海賊・武装強盗以外の違法な活動への応用

## Information Sharing Center (ISC)

情報共有センター(ISC)

- Effective information sharing schemes functioning around the clock should be established.

24時間機能する効果的の情報共有制度が確立されるべきである。

- ReCAAP provides contracting parties\* with the information sharing framework.

ReCAAP協定は、締約国政府に対し、情報共有の枠組みを提供するもの

\*Contracting Parties: Member Countries\* that have signed and ratified the ReCAAP Agreement.

締約国: ReCAAP協定に署名し、批准したメンバー国

\*Member Countries: Bangladesh, Brunei, Cambodia, China, India, Indonesia, Japan, Laos, Malaysia, Myanmar, Philippines, Korea, Singapore, Sri Lanka, Thailand and Viet Nam (ASEAN Countries)

メンバー国は、アセアン10カ国、バングラディシュ、中国、インド、日本、韓国、スリランカ

## Question !

疑問！

Q: Is the ISC different from the existing information sharing scheme, IMB PRC in terms of

- scope of activities,
- definition of piracy,
- legal grounds,
- operational hours, etc?

Q: 情報共有センター(ISC)は、既存の情報共有の枠組みである国際海事局海賊情報センターと、次の点について、異なるだろうか？

- 活動の範囲
- 海賊の定義
- 法的根拠
- 活動時間 等

## Advancement of cooperative or coordinated activities

協力的かつ調整された活動の推進

- Cooperative or coordinated activities are desirable** in such closed sea areas as the Straits of Malacca and Singapore where territorial boundaries of two or more States lie.

マラッカ・シンガポール海峡のように、二国以上の国の領海の限界線が位置する半閉鎖的な海域においては、協力的かつ調整された活動が望まれる。

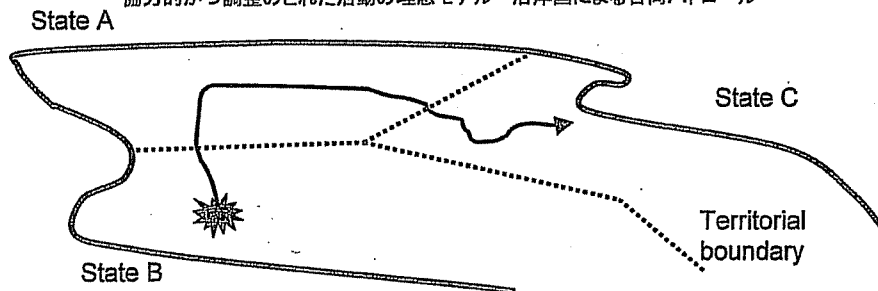
- The activities have to be carried out by coastal States of the sea areas, paying due respect to sovereignty and sovereign rights of each State.**

そのような活動は、各国の主権及び主権的権利に十分配慮しつつ、当該海域の沿岸国により実施されなければならない。

## Ideal model of the cooperative or coordinated activities

-Joint patrol among coastal States-

協力的かつ調整のとれた活動の理想モデル—沿岸国による合同パトロール—



Joint patrol in accordance with a mutual agreement among coastal States is necessary for suppressing illegal activities in closed sea areas. **Due respect to sovereignty and sovereign rights of each State should be paid!**

半閉鎖的領域における違法活動の抑止には、沿岸国による相互協定に基づく合同パトロールが必要である。各国の主権及び主権的権利に対し十分に配慮しなければならない。

## Discussion !

討議

**Q1: Why such activities are effective?**

**A1: ?**

Q1:なぜ、そのような活動が効果的なのか？

**Q2: What kinds of activities are effective do deal with maritime crimes with transnational nature.**

**A2: ?**

Q2:越境性を有する海上犯罪に対処するためには、どのような活動が効果的か？

## Discussion !

討議

**Q3: What is the purpose of combined exercise on piracy/armed robbery.**

Q3:海賊・海上武装強盗対策のための連携訓練の目的は何か。

**A3: To build confidence and familiarity among participating organizations for further cooperative arrangements in the field of piracy/armed robbery countermeasures.**

A3:海賊・海上武装強盗分野における更なる協力連携関係の構築のため、訓練参加機関間の信頼醸成及び相互理解を構築すること

## Technical assistance rendered by JCG

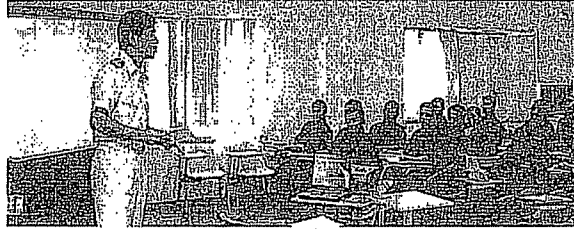
海上保安庁が実施する技術協力

- ▣ JICA-JCG Maritime Law Enforcement Training Course (Kita-Kyusyu, Japan) -1 month-  
JICA-JCG海上取締り研修(北九州、日本) 1ヶ月
- ▣ JICA-JCG Maritime Law Enforcement Training Seminar (abroad) -1 month-  
JICA-JCG海上法執行セミナー(海外) 1ヶ月
- ▣ Japan Coast Guard Academy Overseas Student Program (Hiroshima, Japan) -2 or 5 years-  
海上保安大学校留学生受入れ制度(広島、日本) 2~5年

## Technical assistance rendered by JCG

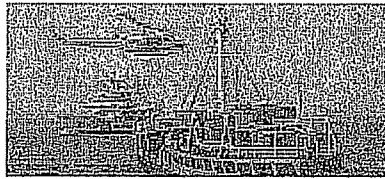
海上保安庁が実施する技術協力

- ▣ JCGA-JCG Onboard Training Seminar Program (dispatched JCG ship) -3 days-  
JCGA-JCG乗船研修セミナー(派遣された巡視船上) 3日間
- ▣ Combined Exercise among law enforcement authorities (abroad)  
法執行機関による連携訓練(海外)
- ▣ JICA Experts  
JICA専門家
- ▣ Donation of patrol ships under the ODA scheme  
ODAスキームによる巡視艇の寄贈



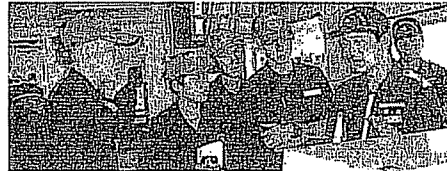
### JICA-JCG Maritime Law Enforcement Training Seminar in Philippines

JICA-JCG海上法執行研修セミナー(フィリピン)



### Combined Exercise 連携訓練

### Onboard Training Seminar Program 乗船研修セミナー



## Periodical operational level meetings

運用レベル担当者の定期的会合

- Regional Experts Meeting on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships were regularly held from 2000 to 2004.

2000年から2004年までの間、「地域海賊・武装強盗対策専門家会合」が定期的に開催されていた。

- No operational level meetings are held since 2005.

2005年以降、海賊対策に係る専門家会合は開催されていない。

Note: "The Regional Experts Meeting on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships" was eventually developed into the "The Heads of Asian Coast Guard Agencies Meeting".

注:「地域海賊・武装強盗対策専門家会合」は発展的に解消し、アジア海上保安機関長官級会合となった。



## Conclusion (No.1) まとめ(その1)

- ▣ Frequent occurrences of piracy/armed robbery threaten safe navigation of ships in SE Asia.  
東南アジアにおいては、海賊・武装強盗の頻発が船舶の安全な航行を脅かしている。
- ▣ Coastal States need to enhance law enforcement and surveillance activities in their coastal areas.  
沿岸国は、自国の沿岸域において、法執行活動及び監視活動を強化する必要がある。
- ▣ It is important for States concerned to mutually cooperate to deal with the crime under the scheme of international laws and regulations, paying due respect to sovereignty and sovereign rights of each State.  
関係国が国際法の諸規則に従って、また、各国の主権及び主権的権利に適切な配慮をしつつ、このような犯罪に対処するため、相互に協力することが重要である。

## Conclusion(No.2) まとめ(その2)

- ▣ JCG has been providing SE Asia with technical assistance.  
海上保安庁は、東南アジア諸国に対し技術協力を提供してきた。
- ▣ JCG is observing the activities of Information Sharing Center established by the ReCAAP with great expectations, trying to find the best way to cooperate with it in the field of capacity building (technical assistance).  
海上保安庁は、キャパシティビルディング(技術協力)の分野においてReCAAP協定に基づき設立された情報共有センター(ISC)と協力するための最善の方法を探しつつ、同センターの活動を大きな期待を持って注視している。



# Lecture 4: International Law - The Law of the Sea Convention -

講義4: 国際法 - 海洋法条約 -

Piracy Countermeasures Office  
International Criminal Investigation Division  
Japan Coast Guard  
海上保安庁・国際刑事課・海賊対策室

## Introduction はじめに

This lecture is concerned with 講義の概要

- ▣ the concept of principal maritime zones (territorial sea, high seas, etc.) under the scheme of LOSC and

海洋法条約における主要海域区分(領海、公海等)の概念

- ▣ the legal regime to balance the rights of navigation and the interferences from coastal States in these maritime zones.

各海域区分における「航行の権利」と「沿岸国の干渉」との均衡を図るための法制度

Note: LOSC: The United Nations Convention on the Law of the Sea 国連海洋法条約

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Legal status of the territorial sea -

海域区分1: 領海 —領海の法的地位—

- ▣ The sovereignty of a coastal State extends to the territorial sea.  
沿岸国の主権は、領海に及ぶ。
- ▣ Sovereignty of States over its territory is absolute and complete!  
領域に対する国の主権は、絶対かつ完全なものである。
- ▣ Sovereignty of States is the most extensive form of jurisdiction under international law. It denotes full and unchangeable power over a piece of territory and all the persons from time to time therein.

国の主権は、国際法のもとでは、最も広範な管轄権の形態であり、また、領域及びその時々においてその中に存在する全ての者に対する、完全かつ不変の権力である。

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - The breadth of the territorial sea -

海域区分1: 領海 —領海の幅—

- ▣ 3, 6, 12, 24 or 200 miles?  
3, 6, 12, 24又は200海里?
- ▣ The question of its breadth has been a matter of controversy!  
領海の幅の問題は、紛争の種である。
- ▣ Every State has the right to establish the breadth of its territorial sea up to a limit not exceeding 12 nautical miles, measured from baselines determined in accordance with LOSC.

いずれの国も、海洋法条約の定めるところにより決定される基線から測定して12海里を超えない範囲で、その領海の幅を定める権利を有する。

\*Baselines ? 基線とは？

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Baselines -

海域区分1:領海 —基線—

#### ▣ Normal baselines

The normal baseline for measuring the breadth of the territorial sea is the low-water line along the coast.

通常基線:領海の幅を測定するための通常の基線は、海岸の低潮線である。

#### ▣ Straight baselines

The coastline is deeply indented and cut into or highly unstable. There is a fringe of islands along the coast in its immediate vicinity.

直線基線:海岸線が著しく屈曲している、又は非常に不安定である。

海岸に沿って至近距離に一連の島がある。

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - The right of innocent passage -

海域区分1:領海 —無害通航権—

- ▣ Ships of all States enjoy the right of innocent passage through the territorial sea. Passage shall be continuous and expeditious.

すべての国の船舶は、領海において無害通航権を有する。

- ▣ Ships are not allowed to hover or cruise around in the TS, regardless of whether or not they are innocent.

船舶は、領海において停留、徘徊することは、それが無害か否かに関わらず、許されない。

V.S.

- ▣ The coastal State shall not hamper the innocent passage of foreign ships through the territorial sea.

沿岸国は領海における外国船舶の無害通航を妨害してはならない。

## Maritime zones 1: Territorial sea

- Activities prejudicial to the coastal State -

- non-innocent passage -

海域区分1: 領海 - 沿岸国を害する活動(無害でない通航) -

Q1: What does it mean by "innocent"?

- ▣ Passage is innocent so long as it is not prejudicial to the peace, good order or security of the coastal State.

Q1: 「無害」とは何を意味するのか？

通航は、沿岸国の平和、秩序又は安全を害しない限り、無害とされる。

Q2: What activities are prejudicial to "the peace", "good order" or "security" of the coastal State?

- ▣ Examples:

Q2: どのような活動が、沿岸国の平和、秩序又は安全を害すると言えるか？

事例:

## Maritime zones 1: Territorial sea

- Activities prejudicial to the coastal State -

- non-innocent passage -

海域区分1: 領海 - 沿岸国を害する活動(無害でない通航) -

- ▣ Passage of a foreign ship shall be considered to be prejudicial to the peace, good order or security of the coastal State if in the territorial sea it engages in any of the following activities.

外国船舶の通航は、当該外国船舶が領海において次の活動のいずれかに従事する場合には、沿岸国の平和、秩序又は安全を害するものとされる。

- ▣ any threat or use of force against the sovereignty, territorial integrity or political independence of the coastal State.

沿岸国の主権、領土保全若しくは政治的独立に対する武力による威嚇又は武力の行使

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Activities prejudicial to the coastal State -

#### - non-innocent passage -

海域区分1:領海 -沿岸国を害する活動(無害でない通航)-

- ▣ any exercise or practice with weapons of any kind.  
兵器(種類のいかんを問わない。)を用いる訓練又は演習
- ▣ any act aimed at collecting information to the prejudice of the defense or security of the coastal State.  
沿岸国の防衛又は安全を害することとなるような情報の収集を目的とする行為
- ▣ the loading or unloading of any commodity, currency or person contrary to the customs, fiscal, immigration or sanitary laws and regulations of the coastal States.  
兵器沿岸国の通関上、財政上、出入国管理上又は衛生上の法令に違反する物品、通貨又は人の積み込み又は積降し

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Activities prejudicial to the coastal State -

#### - non-innocent passage -

海域区分1:領海 -沿岸国を害する活動(無害でない通航)-

- ▣ any act of willful and serious pollution contrary to LOSC.  
海洋法条約に違反する故意のかつ重大な汚染行為
- ▣ any fishing activities  
漁業活動
- ▣ the carrying out of research or survey activities  
調査活動又は測量活動の実施

## Maritime zones 1: Territorial sea

- Activities prejudicial to the coastal State -

- non innocent passage -

海域区分1:領海 -沿岸国を害する活動(無害でない通航)-

Q: How about submarines?

- ▣ Submarines and other underwater vehicles are required to navigate on the surface and ?

Q: 潜水船はどうか?

潜水船その他の水中航行機器は、海面上を航行し、かつ、? しなければならない。

## Maritime zones 1: Territorial sea

- Laws and regulations of coastal States -

海域区分1:領海 -沿岸国の法令-

- ▣ The coastal State may adopt laws and regulations relating to innocent passage.

沿岸国は、無害通航に係る法令を制定することができる。

- ▣ Foreign ships shall comply with laws and regulations adopted by the coastal State relating to innocent passage

外国船舶は、無害通航に関する沿岸国の法令を遵守する。

**Note: In the application of any laws or regulations, the coastal State shall not impose requirements on foreign ships which have the practical effect of denying or impairing the right of innocent passage**

沿岸国は法令の適用に当たり、外国船舶に対し無害通航権を否定し又は害する実際上の効果を有する要件を課してはならない。



## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Rights of protection of the coastal State -

海域区分1:領海 -沿岸国の保護権-

- ▣ The coastal State may take the necessary steps in its territorial sea to prevent passage which is not innocent.

沿岸国は、無害でない通航を防止するため、自国の領海内において必要な措置をとることができる。

Compare 比較検討

- ▣ The coastal State shall not hamper the innocent passage of foreign ships through the territorial sea.

沿岸国は、領海における外国船舶の無害通航を妨害してはならない。

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Criminal jurisdiction on board a foreign ships -

海域区分1:領海 -外国船舶内における刑事裁判権-

- ▣ The criminal jurisdiction of the coastal State should not be exercised on board a foreign ship passing through the territorial sea.

沿岸国の刑事管轄権は、領海を通航している外国船舶内において、行使してはならない。

- ▣ Exceptions: 例外

- ▣ if the consequences of the crime extend to the coastal State

犯罪の結果が当該沿岸国に及ぶ場合

- ▣ if the crime is of a kind to disturb the peace of the country or the good order of the territorial sea etc.

犯罪が当該沿岸国の安寧又は領海の秩序を乱す性質のものである場合 等

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Criminal jurisdiction on board a foreign ships -

海域区分1:領海 -外国船舶内における刑事裁判権-

- ▣ In considering whether or in what manner an arrest should be made, the local authority shall have due regard to the interests of navigation.

沿岸国の当局は、逮捕すべきか否か、また、いかなる方法によって逮捕すべきかを考慮するに当たり、航行の利益に対して妥当な考慮を払う。

## Maritime zones 1: Territorial sea

### - Charges levied upon foreign ships -

海域区分1:領海 -外国船舶に対して課し得る課徴金-

- ▣ No charge may be levied upon foreign ships by reason only of their passage through the territorial sea.

外国船舶に対しては、領海の通航のみを理由とするいかなる課徴金も課することができない。

- ▣ Charges may be levied as payment only for specific services rendered to the ship.

船舶に提供された特定の役務の対価としてのみ、課徴金を課することができる。

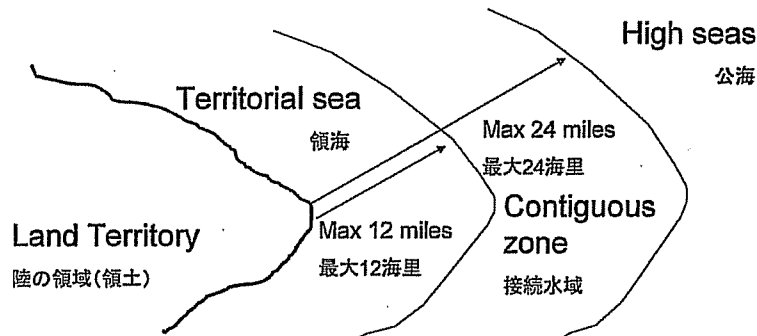
- ▣ Pilot fees                      水先料
- ▣ Light dues etc.              灯台料 等

## Maritime zones 2: Contiguous zone

海域区分2:接続水域

- ▣ The contiguous zone may not extend beyond 24 nautical miles from the baselines.

接続水域は、基線から24海里を超えて拡張することができない。



## Maritime zones 2: Contiguous zone

海域区分2:接続水域

- ▣ The coastal State may exercise the control necessary to
  - ▣ Prevent infringement of its custom, fiscal, immigration or sanitary laws and regulations within its territory or territorial sea.
  - ▣ Punish infringement of the above laws and regulations committed within its territory or territorial sea.

沿岸国は、次のことに必要な規制を行うことができる。

自国の領土又は領海内における通関上、財政上、出入国管理上又は衛生上の法令の違反を防止すること。

自国の領土又は領海内で行われた上記の法令の違反を処罰すること。

## Maritime zones 3: High Seas

### - Freedom of the high seas -

海域区分3: 公海 - 公海の自由 -

- ▣ **The high seas are open to all States.**  
公海は、すべての国に開放される。
- ▣ **Freedom of the high seas is exercised under the conditions laid down by LOSC, other rules of international law with due regard for the interests of other States.**  
公海の自由は、海洋法条約、国際法の他の規則に定める条件に従い、他の国の利益に妥当な考慮を払って、行使される。
- ▣ **The freedom of the high seas is NOT absolute freedom.**  
公海の自由は、絶対的な自由ではない。  
\*Freedom of navigation, freedom of overflight, freedom to lay submarine cables and pipelines etc.  
航行の自由、上空飛行の自由、海底電線及び海底パイプラインを敷設する自由

## Maritime zones 3: High Seas

### - Invalidity of claims of sovereignty over the high seas -

海域区分3: 公海 - 公海に対する主権についての主張の無効 -

- ▣ **No State may validly purport to subject any part of the high seas to its sovereignty.**

いかなる国も、公海のいずれかの部分をその主権の下に置くことを有効に主張することができない。

## Maritime zones 3: High Seas

### - Freedom of navigation -

海域区分3:公海 -公海の自由-

- ▣ Every State has the right to sail ships flying its flag on the high seas.

いずれの国も、自国を旗国とする船舶を公海において航行させる権利を有する。

- ▣ Ships shall sail under the flag of one State only and, save in exceptional cases expressly provided for in international treaties or in LOSC, shall be subject to its exclusive jurisdiction on the high seas.

船舶は、一の国のみの旗を掲げて航行するものとし、国際条約又は海洋法条約に明文の規定がある特別の場合を除くほか、公海においてその国の排他的管轄権に服する。

## Maritime zones 3: High Seas

### - Freedom of navigation -

海域区分3:公海 -公海の自由-

Q1: How about a ship which sails under the flags of two or more States, using them according to convenience?

A1: The ship may be assimilated to a ship without nationality.

Q1:二以上の国の旗を適宜に使用して航行する船舶の取扱いは？

A1:当該船舶は、国籍のない船舶とみなすことができる。

Q2: What is the consequence of the assimilation?

A2: Boarding the ship without nationality is justified.

Q2:無国籍船とされることの影響は？

A2:立入検査等の措置が正当化される。

### Maritime zones 3: High Seas

- Duty to co-operate in the repression of piracy –  
海域区分3:公海 –海賊行為の抑止のための協力の義務–

- ▣ All States shall co-operate to the fullest possible extent in the repression of piracy on the high seas.

すべての国は、最大限に可能な範囲で、公海における海賊行為の抑止に協力する。

Q1: What is the definition of acts of piracy ?

Q1: 海賊行為の定義如何？

Q2: In what way, each State shall co-operate in the repression of piracy?

Q2: 各国は海賊行為の抑止のため、どのような方法で協力しなければならないか？

### Maritime zones 3: High Seas

- Definition of piracy LOSC Art. 101-  
海域区分3:公海 –海洋法条約第101条の海賊行為の定義–

(a) any illegal acts of violence or detention, or any act of depredation, committed for private ends by the crew or the passengers of a private ship or a private aircraft, and directed:

(a) 私有の船舶又は航空機の乗組員又は旅客が私的目的のために行うすべての不法な暴力行為、抑留又は略奪行為であつて次のものに対して行われるもの

(i) on the high seas, against another ship or aircraft, or against persons or property on board such ship or aircraft;

(i) 公海における他の船舶若しくは航空機又はこれらの内にある人若しくは財産

(ii) against a ship, aircraft, persons or property in a place outside the jurisdiction of any State;

(ii) いずれの国の管轄権にも服さない場所にある船舶、航空機、人又は財産

## Maritime zones 3: High Seas

### - Definition of piracy LOSC Art. 101-

海域区分3:公海 - 海洋法条約第101条の海賊行為の定義 -

- (b) any act of voluntary participation in the operation of a ship or of an aircraft with knowledge of facts making it a pirate ship or aircraft;
- (b) いずれかの船舶又は航空機を海賊船舶又は海賊航空機とする事実を知って当該船舶又は航空機の運航に自発的に参加するすべての行為
- (c) any act of inciting or of intentionally facilitating an act described in subparagraph (a) or (b).
- (c) (a)又は(b)に規定する行為を扇動し又は故意に助長するすべての行為

## Maritime zones 3: High Seas

### - Actual responses to a pirate ship by a coast guard ship on the high seas -

海域区分3:公海 - 公海上におけるコースト・ガードによる事案対応 -

- A coast guard ship which encounters a foreign ship is justified in boarding it if there is reasonable ground for suspecting that the ship is engaged in piracy.

コースト・ガードの船舶は、外国船舶が海賊行為を行っていることを疑うに足りる十分な根拠がある場合には、当該外国船舶を臨検することができる。

Q: Any other activities of a foreign ship other than piracy?

Q: 海賊行為以外の外国船舶の他の活動は？

### Maritime zones 3: High Seas

#### - Actual responses to a pirate ship by a coast guard ship on the high seas -

海域区分3:公海 -公海上におけるコースト・ガードによる事案対応-

- ▣ A coast guard ship may proceed to verify the ship's right to fly its flag. To this end, it may send a boat and check the documents.

コースト・ガードの巡視船は、当該外国船舶がその旗を掲げる権利を確認することができる。このため、ボートを派遣し、文書を検査することができる。

- ▣ If suspicion remains after the documents have been checked, it may proceed to a further examination on board the ship.

文書を検査した後もなお疑いがあるときは、その船舶内において更に検査を行うことができる。

### Maritime zones 3: High Seas

#### - Actual responses to a pirate ship by a coast guard ship on the high seas -

海域区分3:公海 -公海上におけるコースト・ガードによる事案対応-

- ▣ Every State may seize a pirate ship and arrest the persons and seize the property on board.

いずれの国も、海賊船舶を拿捕し、当該船舶内の人を逮捕し、財産を押収することができる。

- ▣ The courts of the State which carried out the seizure may decide upon the penalties to be imposed.

拿捕を行った国の裁判所は、科すべき刑罰を決定することができる



## Maritime zones 3: High Seas

### - Actual responses to a pirate ship by a coast guard ship on the high seas -

海域区分3:公海 ー公海上におけるコースト・ガードによる事案対応ー

- ▣ Where the seizure of a ship on suspicion of piracy has been effected without adequate grounds, the State making the seizure shall be liable to the State the nationality of which is possessed by the ship for any loss or damage caused by the seizure.

海賊行為の疑いに基づく船舶の拿捕が十分な根拠なしに行われた場合には、拿捕を行った国は、その船舶の国籍国に対し、その拿捕によって生じたいかなる損失又は損害についても責任を負う。

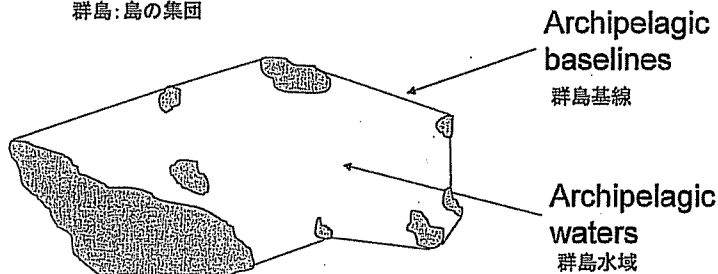
## Maritime zones 4: Archipelagic States

海域区分4: 群島国

- ▣ Archipelagic State: a State constituted wholly by one or more archipelagos
  - ▣ Archipelago: a group of islands

群島国: 全体が一又は二以上の群島から成る国

群島: 島の集団



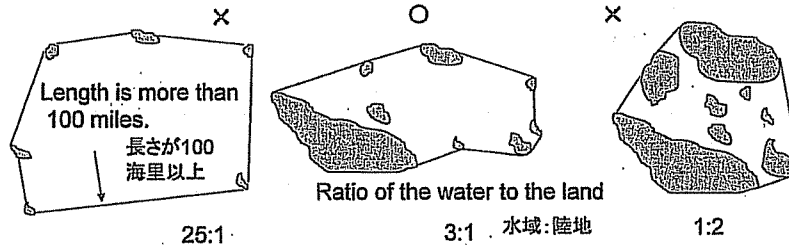
## Maritime zones 4: Archipelagic States

### —Archipelagic baselines—

海域区分4: 群島国 —群島基線—

- An archipelagic State may draw straight archipelagic baselines joining the outermost points of the outermost islands and drying reefs of the archipelago.

群島国は、群島の最も外側にある島及び低潮時に水面上にある礁の最も外側の諸点を結ぶ直線の群島基線を引くことができる。



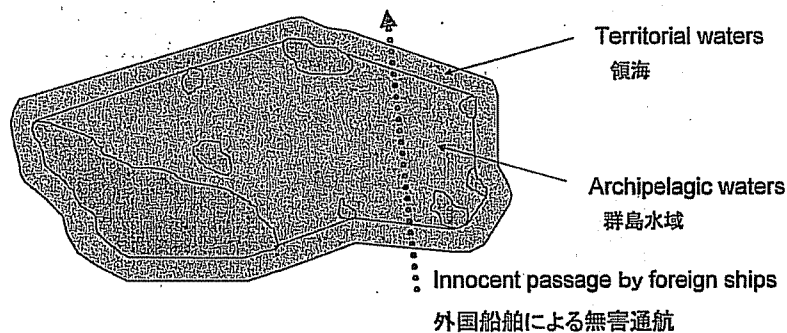
## Maritime zones 4: Archipelagic States

### —Innocent passage—

海域区分4: 群島国 —無害通航権—

- Ships of all States enjoy the right of innocent passage through archipelagic waters.

すべての国の船舶は、群島水域において無害通航権を有する。



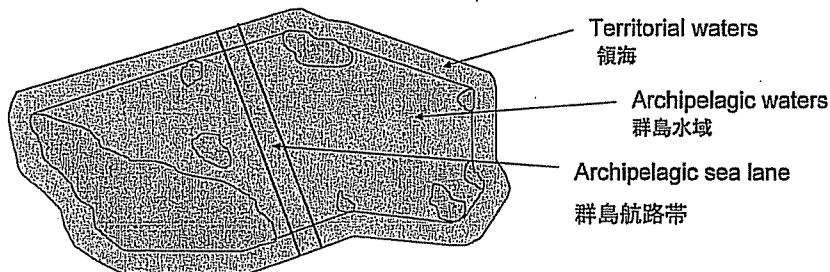
## Maritime zones 4: Archipelagic States

— Right of archipelagic sea lanes passage —

海域区分4: 群島国 — 群島航路帯通航権 —

- ▣ An archipelagic State may designate sea lanes suitable for the continuous and expeditious passage of foreign ships through its archipelagic waters and the adjacent territorial sea.

群島国は、自国の群島水域及びこれに接続する領海における外国船舶の継続的かつ迅速な通航に適した航路帯を指定することができる。



## Maritime zones 4: Archipelagic States

— Right of archipelagic sea lanes passage —

海域区分4: 群島国 — 群島航路帯通航権 —

- ▣ All ships enjoy the right of archipelagic sea lanes passage in archipelagic sea lanes.

すべての船舶は、群島航路帯において、群島航路帯通航権を有する。

- ▣ Archipelagic sea lanes passage means the exercise of the rights of navigation in the normal mode solely for the purpose of continuous, expeditious and unobstructed transit.

群島航路帯通航とは、通常の形態での航行の権利が、継続的、迅速かつ妨げられることのない通過のためにのみ行使されることをいう。

## Maritime zones 5: Straits used for international navigation

海域区分5: 国際航行に使用されている海峡

- The legal regime of straits used for international navigation was established for the first time in LOSC.

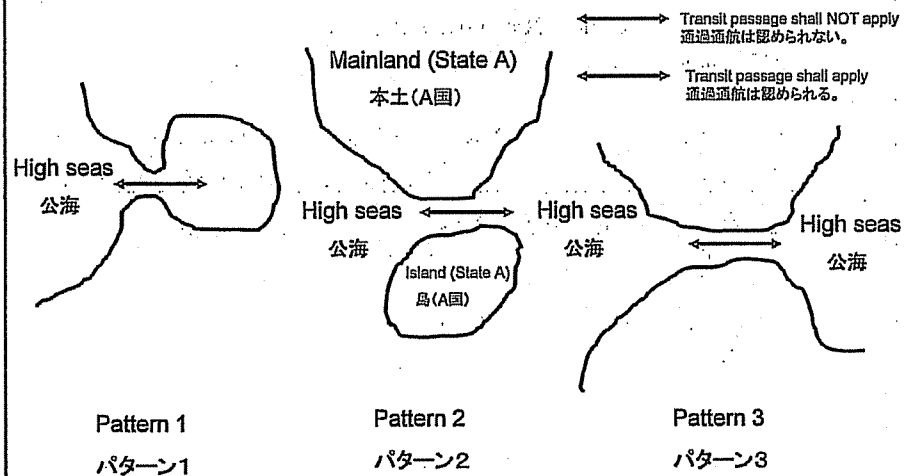
国際航行に使用されている海峡の法的な通航制度は、海洋法条約の中で始めて定められた。

- All ships and aircraft enjoy the right of transit passage.

すべての船舶及び航空機は、通過通航権を有する。

## Maritime zones 5: Straits used for international navigation

海域区分5: 国際航行に使用されている海峡



## Maritime zones 5: Straits used for international navigation

### —The right of transit passage—

海域区分5: 国際航行に使用されている海峡 —通過通航権—

- ▣ Transit passage means the exercise of the freedom of navigation solely for the purpose of continuous and expeditious transit of the strait.

通過通航とは、航行の自由が海峡の継続的かつ迅速な通過のためにのみ行使されることをいう。

V.S.

- ▣ The right of transit passage shall not be impeded.

通過通航権は、害されない。

## Maritime zones 5: Straits used for international navigation

### —Comparison with territorial sea—

海域区分5: 国際航行に使用されている海峡 —領海との比較—

#### Research and survey activities 調査活動及び測量活動

- ▣ During transit passage, foreign ships may not carry out any research or survey activities with out prior authorization.

外国船舶は、通過通航中、事前の許可なしに、いかなる調査活動又は測量活動も行いうことができない。

V.S.

- ▣ Passage of a foreign ship shall be considered to be prejudicial if it engages in search or survey activities.

外国船舶の通航は、当該外国船舶が調査活動又は測量活動に従事する場合には、有害とされる。

## Maritime zones 5: Straits used for international navigation

### —Comparison with territorial sea—

海域区分5: 国際航行に使用されている海峡 —領海との比較—

#### Submarine and other underwater vehicles

潜水船その他の水中航行機器

- Submarine and other underwater vehicles are not required to navigate on the surface.

潜水船その他の水中航行機器は、海面上を航行することは要請されていない。

V.S

- Submarine and other underwater vehicles are required to navigate on the surface and to show their flag.

潜水船その他の水中航行機器は、海面上を航行し、かつ、その旗を掲げなければならない。

## Maritime zones 5: Straits used for international navigation

### —Co-operation by user States—

海域区分5: 国際航行に使用されている海峡 —利用国による協力—

- User States and States bordering a strait should by agreement co-operate in the establishment and maintenance in a strait of other improvement in aid of international navigation.

海峡利用国及び海峡沿岸国は、合意により、国際航行に資する他の改善措置の海峡における設定及び維持について協力する。

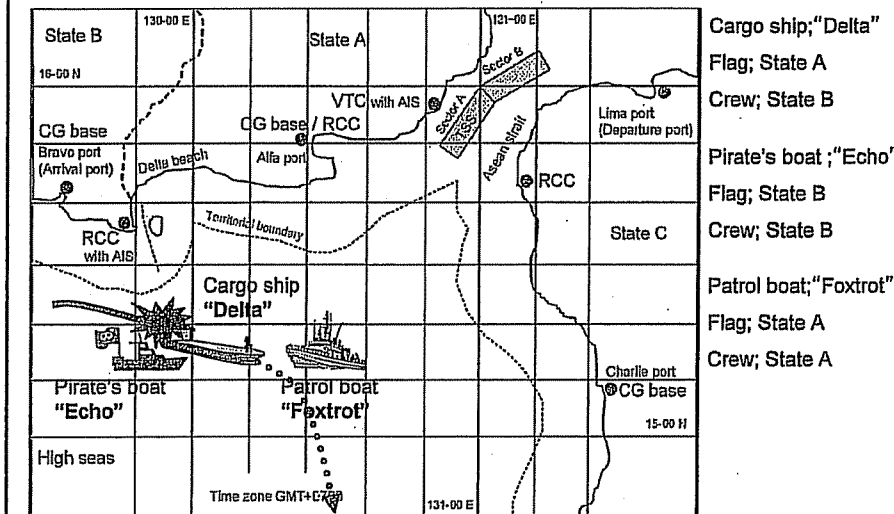
# Review of the Lecture

## International Law - The Law of the Sea Convention -

Pirate's boat "Echo" attack cargo ship "Delta" on high sea.

Patrol boat "Foxtrot" (State A) are on the scene.

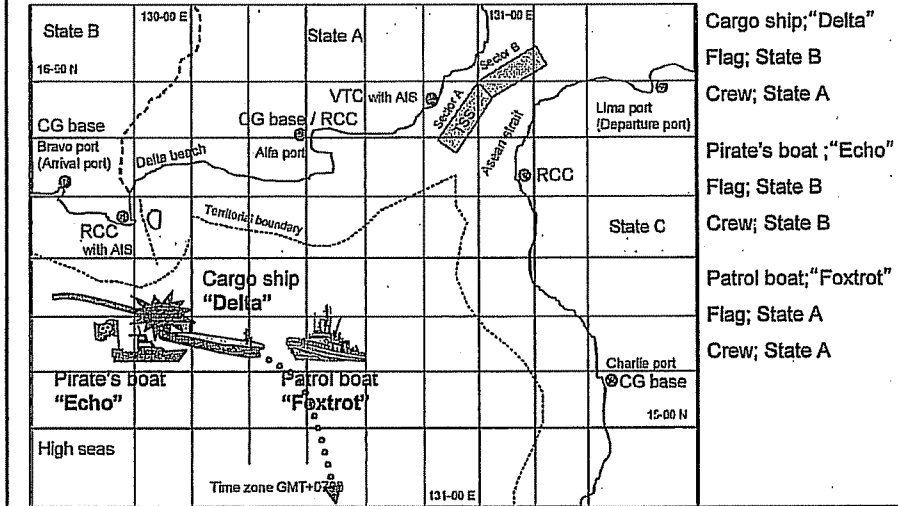
Do the coast guard officer on "Foxtrot" have the criminal jurisdiction to start investigation?



Pirate's boat "Echo" attack cargo ship "Delta" on high sea.

Patrol boat "Foxtrot" (State A) are on the scene.

Do the coast guard officer on "Foxtrot" have the criminal jurisdiction to start investigation?

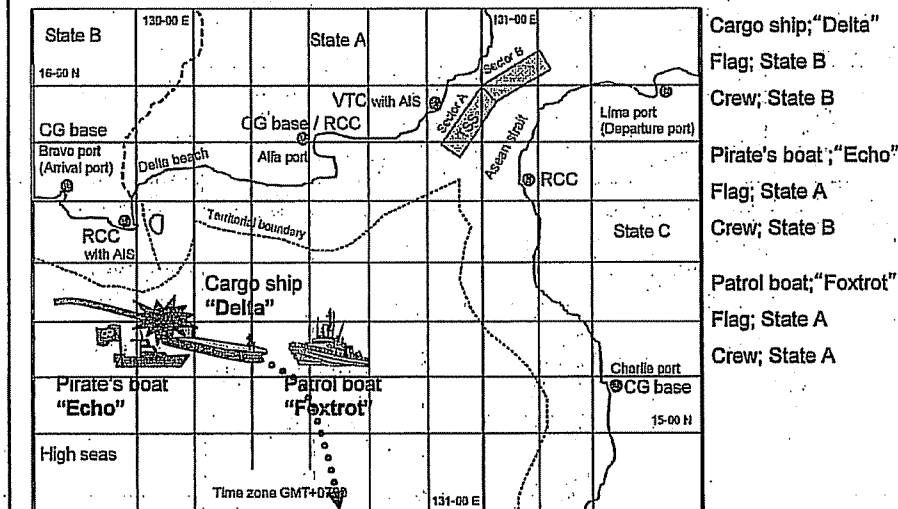


Cargo ship; "Delta"  
 Flag; State B  
 Crew; State A  
 Pirate's boat ; "Echo"  
 Flag; State B  
 Crew; State B  
 Patrol boat; "Foxtrot"  
 Flag; State A  
 Crew; State A

Pirate's boat "Echo" attack cargo ship "Delta" on high sea.

Patrol boat "Foxtrot" (State A) are on the scene.

Do the coast guard officer on "Foxtrot" have the criminal jurisdiction to start investigation?

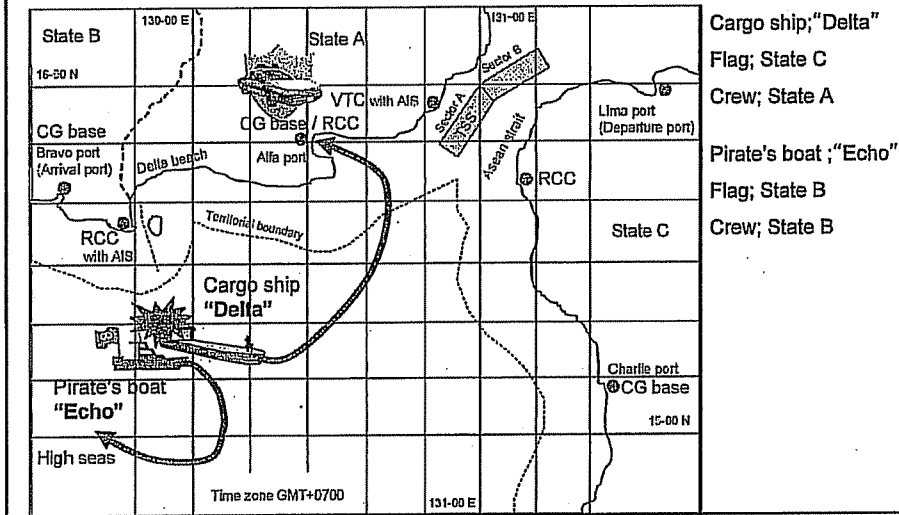


Cargo ship; "Delta"  
 Flag; State B  
 Crew; State B  
 Pirate's boat ; "Echo"  
 Flag; State A  
 Crew; State B  
 Patrol boat; "Foxtrot"  
 Flag; State A  
 Crew; State A



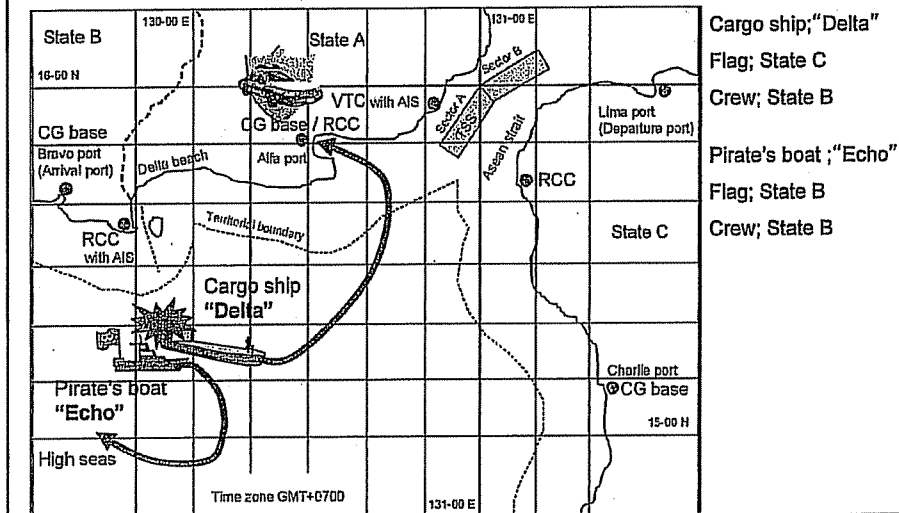
Pirate's boat "Echo" attached cargo ship "Delta" on high sea.  
Then, Delta entered Alfa port. Echo ran away to off shore.

Do the coast guard officer in Alfa port have the criminal jurisdiction to start investigation?

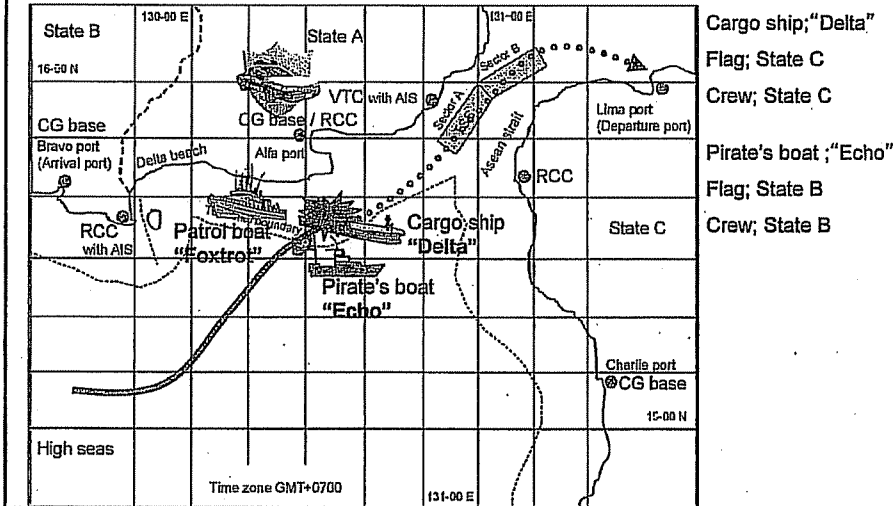


Pirate's boat "Echo" attached and hijacked cargo ship "Delta" on high sea. Then, Delta entered Alfa port. Echo ran away to off shore.

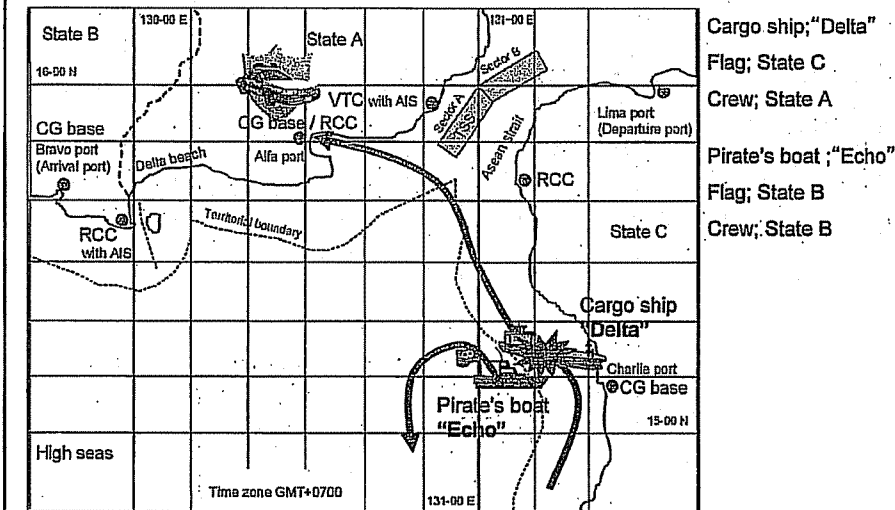
Do the coast guard officer in Alfa port have the criminal jurisdiction to start investigation?



Pirate's boat "Echo" attached and hijacked cargo ship "Delta" that was heading Lima port on territorial water of State A. Patrol boat "Foxtrot" (State A) are on the scene.  
 Do the coast guard officer on "Foxtrot" have the criminal jurisdiction to start investigation?



Pirate's boat "Echo" attacked cargo ship "Delta" on territorial water of State C. Then, Delta entered Alfa port. Echo ran away to off shore.  
 Do the coast guard officer in Alfa port have the criminal jurisdiction to start investigation?



The Penal Code

Chapter1. Scope of Application

Article 2. (Crimes Outside Japan) This Code shall apply to any person who commit one of the following crimes outside Japan:

(1) The Crimes provided for in Articles 77 to 79 (Insurrection )

(2) – (7) Skip

Article 3. (Crimes by Japanese outside Japan) This Code shall apply to a Japanese who commits one of the following crimes outside Japan:

(1) – (5) Skip

(6) The Crimes provided for in Article 199 and attempt thereof (Homicide)

(7)-(16) (Bodily Injury) (Causing Death through Bodily Injury)

(Arrest and Imprisonment) (Larceny)(Robbery) and so on

Article 4-2. (Crimes by Foreigner outside Japan) This Code shall apply to any foreigner who commits one of the following crimes to Japanese outside Japan:

(1) Skip

(2) The Crimes provided for in Article 199 and attempt thereof (Homicide)

(3)-(6) (Bodily Injury) (Causing Death through Bodily Injury) and so on

# Review of Lecture

## Information Gathering

## Information Gathering

In order to understand whole picture of the incidents, what information you need?

1. Date, time and position
2. Ship identity (including characteristics of the ship)
3. Situation in which the victim ship was attacked
4. Damage to the ship
5. Crew/passenger information (including casualties of ship crew/passenger, detail of kidnapped crew/passenger)
6. Information related to ship operation

### 1. Date, time and position

Which authority or company do you need to contact to obtain the information?

1. Date and time of attack
2. Ship position last and next port of call
3. Course and speed  
Victim ship, Ship operator, Ship managing company,  
RCC or Maritime law enforcement agency of Coastal country,  
Maritime bureau, IMB, ISC, Ship owners association
4. Weather conditions, sunrise/sunset time, the age of the moon  
1-3 + Meteorological Office, Navtex center
5. Other vessels passing-by in the vicinity  
1-3 + Automated Mutual-Assistance Vessel Rescue System (UCCG)

## 2. Ship identity

What kind of information do you need to identify the victim ship ?

1. Name
2. Type
3. Length overall (LOA) , breadth and depth
4. Flag state
5. Gross tonnage
6. Cargo (type, amount/volume, manifest, price, etc.)
7. Call sign
8. IMO number (ship registration number)
9. Ship owner
10. Ship management/operating Company
11. INMARSAT IDs/Number
12. Available radio frequency (radio-communication equipment)
13. Serial number of principal equipment/machinery (EPIRB, engine, radar, etc.)
14. Ship general arrangement diagram  
Certain specified information (allocation of passages/corridors inside/outside the hull/superstructure, materials used for doors/walls, location of locked doors, etc.) are useful for special team of law enforcement agency to suppress pirates on board.
15. Draft and freeboard (forward/aft)
16. Ship ownership/management correlation diagram

## 2. Ship identity

What kind of information do you need to identify the victim ship ?

1. Overall Photograph
2. Shape, color (hull, superstructure, funnel)
3. Other structures (ship mast, loading facility, others)

## 2. Ship identity

Which authority or company do you need to contact to obtain the information?

Victim ship, Ship operator, Ship managing company, RCC or Maritime law enforcement agency of Coastal country, Maritime bureau, IMB, ISC, Ship owners association

Ship builder, Data Base, Cargo owner, Insurance company

You need to contact with maritime shipping company located in foreign country A, what kind of channel do you have?

1. Direct
2. Diplomatic route
3. MRCC route
4. ICPO/Maritime Bureau route

## 3. Situation in which the victim ship was attacked

What kind of information do you need to understand the situation ?

1. Number and characteristics of pirate ships (e.g. size, color, materials, propulsion system (outboard engine, etc.), allocation of superstructure, ship mast, machinery, equipment)
2. Number and physical characteristics of pirates, their clothes, language, etc
3. Details of used weapons (e.g. long knife, handgun, revolver, machine gun, rifle, grenade launcher)
4. Modus operandi of the attack (e.g. approach, boarding, treatment of crew/passengers, degree and nature of act of violence)

#### 4. Damage to the ship

1. Damage to the hull, superstructure and cargo loading machinery, equipment, etc.

2. Stolen items

#### 5. Crew/passenger information (including casualties of ship crew/passenger, detail of kidnapped crew/passenger)

1. Number of crew/passengers (by nationality)

2. Crew list

3. Passenger list

4. A copy of seamen's book or passport

5. Identity of kidnapped crew/passengers (e.g. photograph, physical characteristics, clothes, contact number of family (address, telephone number etc.), personal belongings, health condition, medical history, other information, occupation)

6. The room or compartment on board the ship, in which the kidnapped crew/passengers are captured, and its condition

Why do you need to know the nationality of the crew?

Jurisdiction

#### 6. Information related to ship operation

Why this kind of information is necessary?

1. Last port, departure date & time

Any changes (new crew, disembarked crew, loaded cargo, discharged cargo, etc.) made at the port

New crew may guide the pirates to the ship. Purpose of the pirates may be the loaded cargo. These information can be the hint to identify the pirates

2. Next port, estimated date & time of arrival

3. Scheduled navigational route

Search operations for a missing ship will be conducted focusing on the scheduled navigational route.

4. Normal navigational speed

5. Last known report position, date & time, course, speed, weather conditions, the time of sunrise/sunset, the age of the moon

This information will also be used to calculate the position in which a missing vessel may be located.

6. Latest amount of fuel oil, fresh water, food

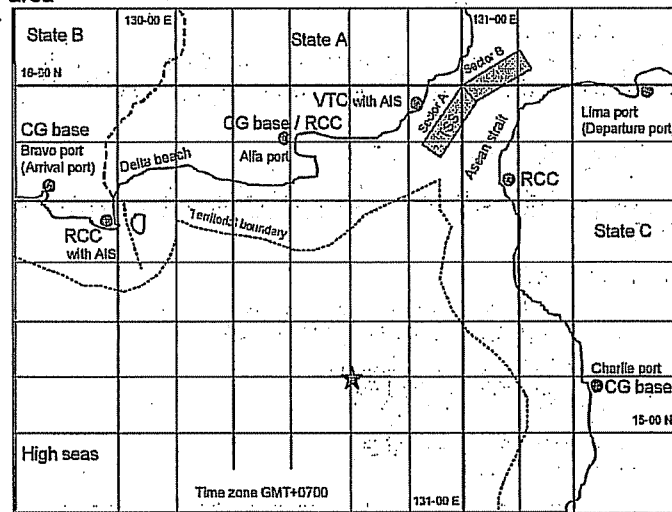
7. Possible navigable date or distance

# Review of Lecture

## Search Operation

1400 20 Feb CG base Charlie port obtain information

"A cargo ship "C" missing at the position of N15-10, E130-40 at 1000 20th Feb." Speed of C is 12 knots. Tidal current of the point is 4knot East, No wind. Your commander order you to establish the search area



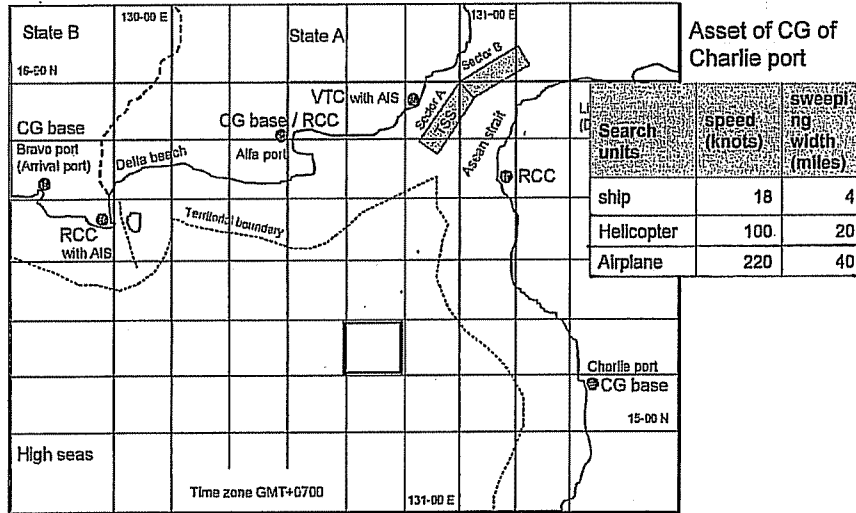
Asset of CG of Charlie port

Air craft  
Speed  
220 knots



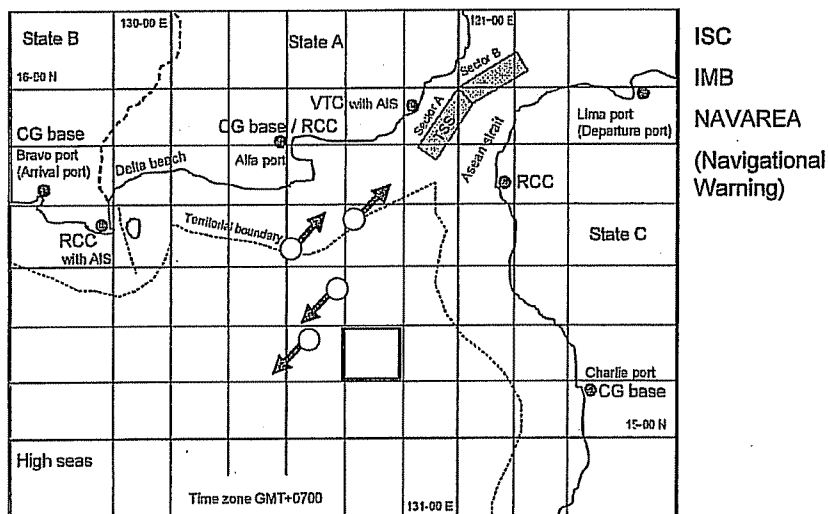
1500 20 Feb CG base Charlie port obtain information

Commander of CG base established Search area. How long do each asset need to complete search activity?



There are a lot of merchant ship sailing near the search area.

Which authority do you inform this incident to issue the warning/alert ?

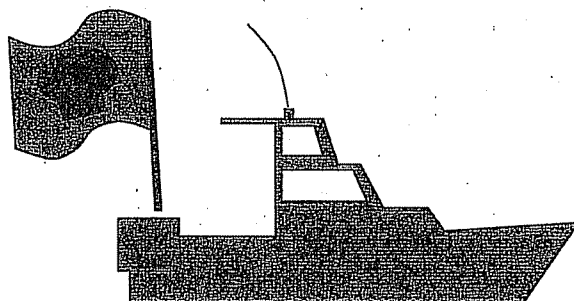


## **Review of Lecture**

### **Order to Stop the suspicious Ship**

**As a result of appropriate searching, your patrol vessel detect pirates boat.**

**When you start pursuit, what do you confirm to identify the boat?**



There is no ID/Ship's name on the hull of the suspicious boat.  
 However, the appearance of the ship is very similar to pirate's boat.

Can you stop the suspicious boat?

Suspicious boat

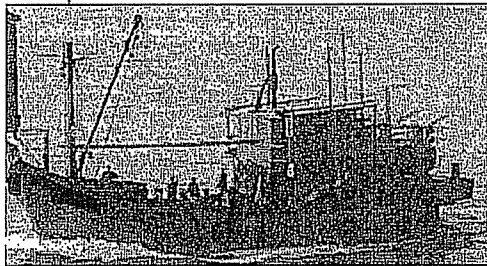
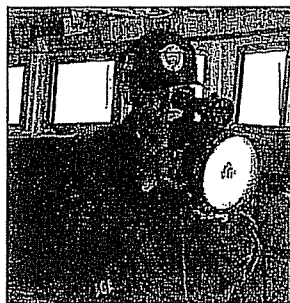


Photo of wanted boat



In order to stop the suspicious boat, you need to send message to the suspicious boat.

What message do you send? What kind of method do you use?



A visual signal

International code of signal "L":  
 You should stop your vessel instantly.  
 "SO1": You should stop. Head off shore  
 "SO2": You should remain where you are.



An audio signal

Whistle (·---·)  
 Loud speaker (international/local language)

Even though you order to stop by visual and auditory warnings, the suspicious boat still continue sailing.

You decide to conduct warning shot to the air/surface of the sea.

Which weapon and bullet do you chose?



Assault rifle



Hand gun



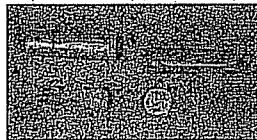
13mm machine gun



40mm machine gun



Normal bullet



Rubber bullet

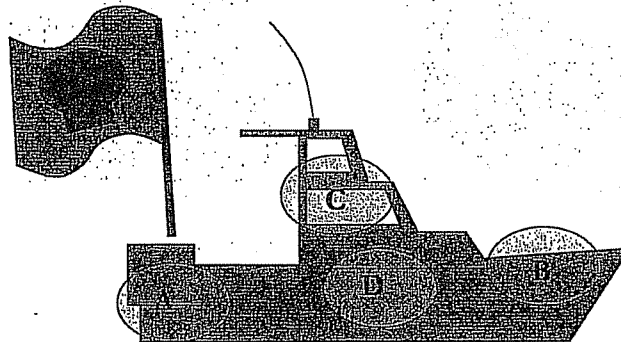


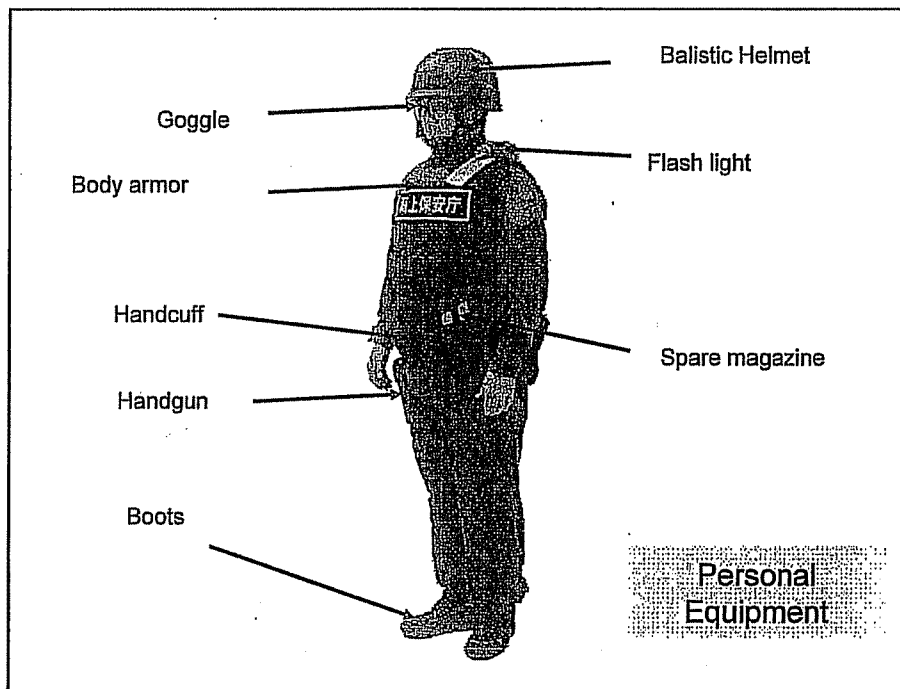
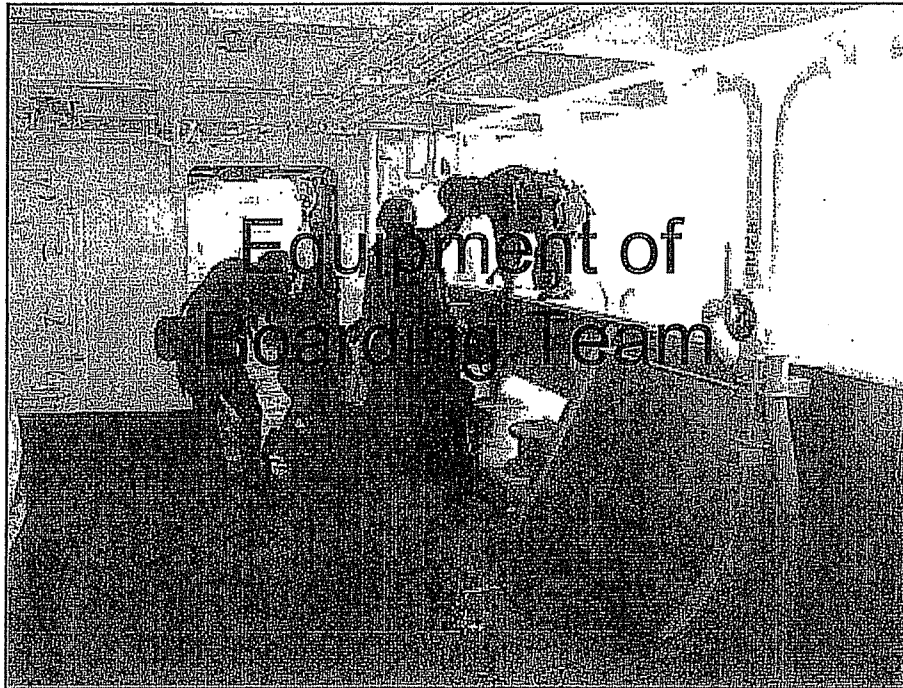
Explosive bullet

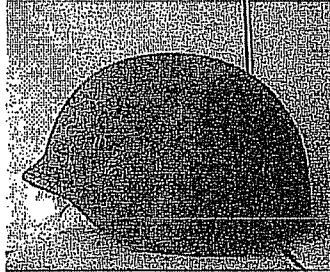
Even though you conduct warning shot to the air/surface of the sea, the suspicious boat still continue sailing.

You decide to conduct warning shot to the hull of the ship, after the visual or auditory warnings have been made.

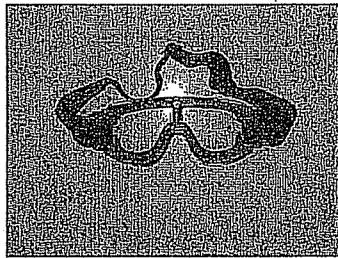
Which part of the ship you shoot at?





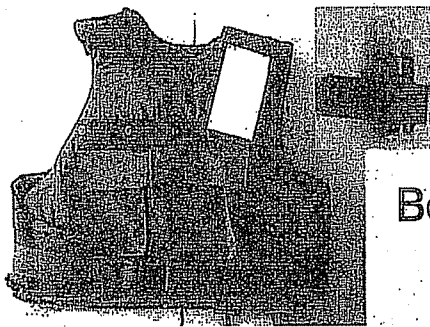


Balistic Helmet



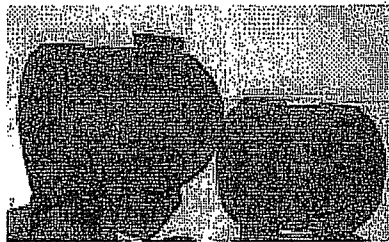
Goggle

Bulletproof  
Equipment

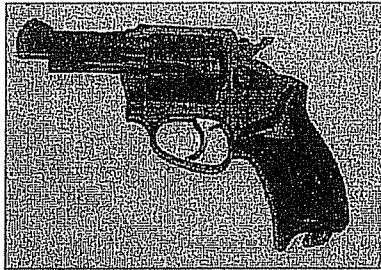


Flashlight

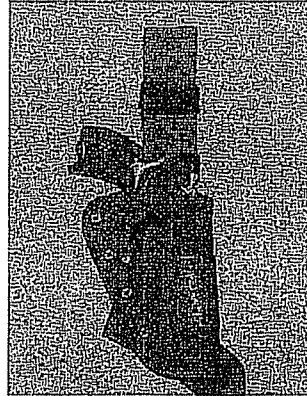
Body armor



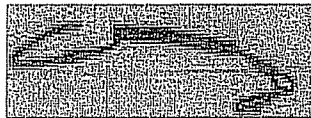
Knee & Elbow  
Protector



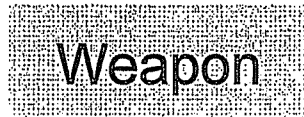
Handgun (Revolver Type)



Holster

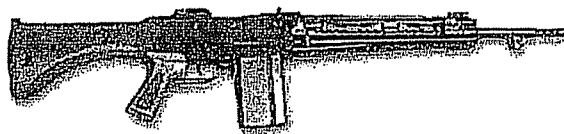
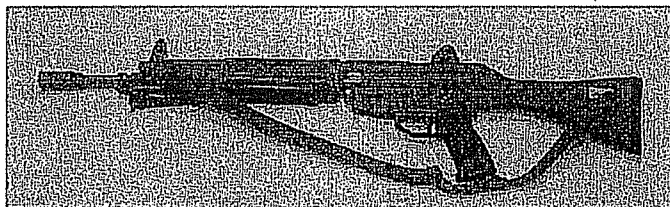


Safety line

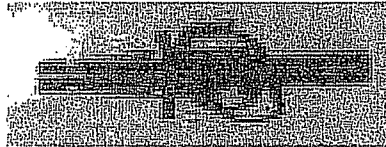


Weapon

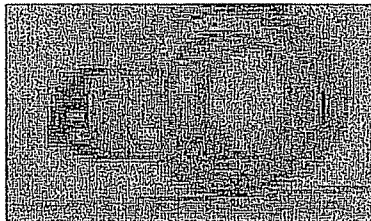
Automatic rifle  
89 type  
(5.56mm)



Automatic rifle  
64 type  
(7.62mm)

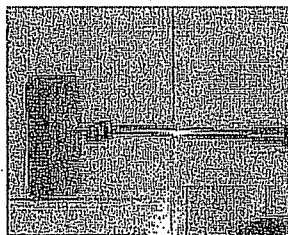


Police batten



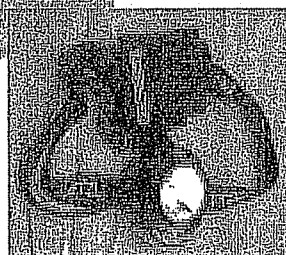
Handcuff

Equipment for suppression  
& Restraint

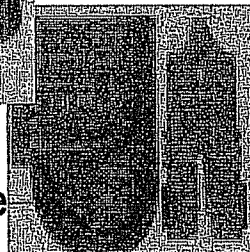


Search Mirror

Equipment  
for Search



Head Light



Multi-functional knife



## Equipment for communication & recording

- Video Camera
- IC Recorder
- Stationery
- Radio Equipment
- Color Smoke
- Chemical light stick

## Food & Drinking Water

- Carrying dry foods
- Camel Bag

